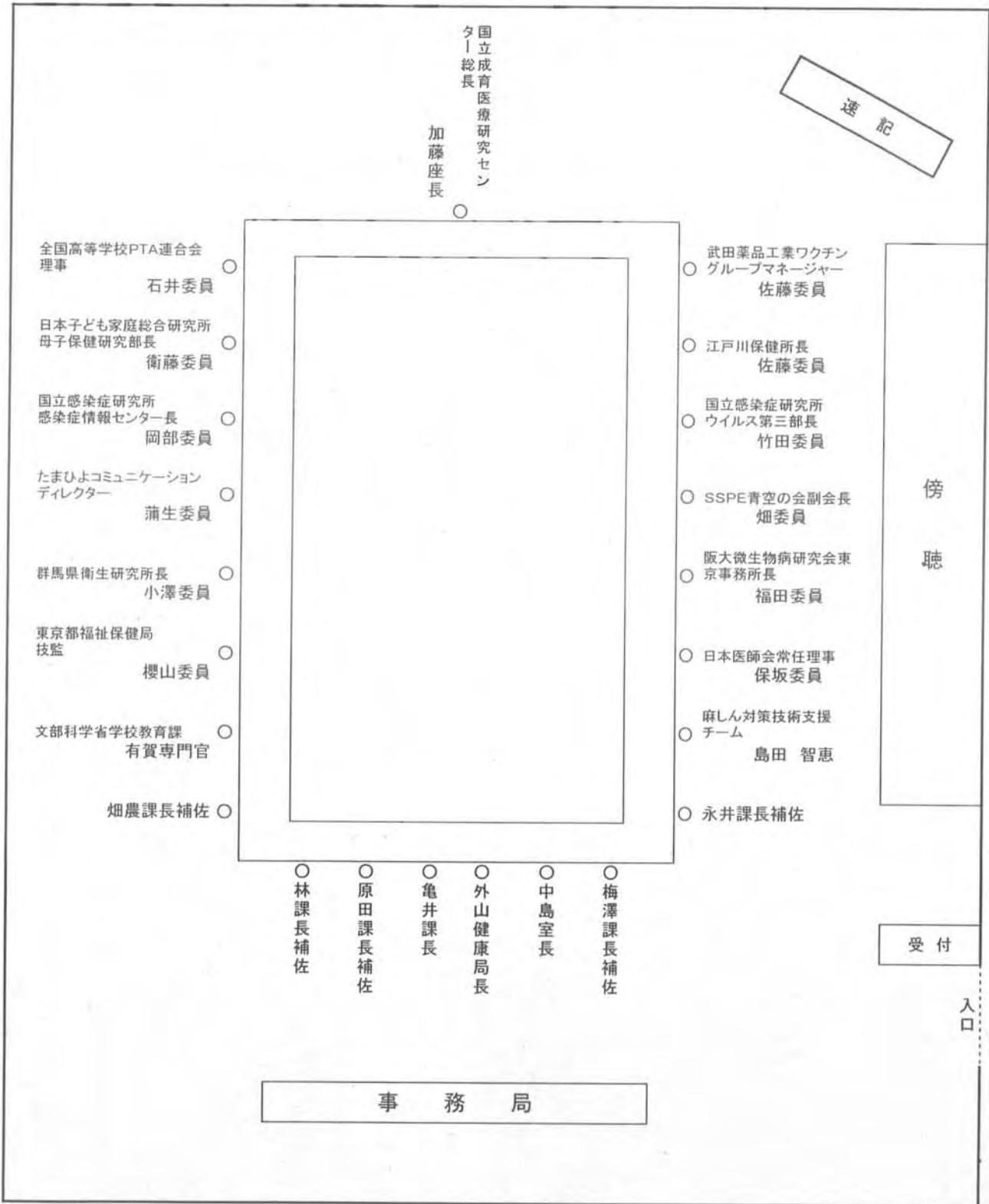


# 第6回 麻しん対策推進会議 座席表

日時：平成22年11月1日(月)

15:30～17:30

場所：厚生労働省専用第12会議室



国立成育医療研究センター  
加藤座長

速記

傍聴

受付

入口

事務局

全国高等学校PTA連合会  
理事

石井委員

日本子ども家庭総合研究所  
母子保健研究部長

衛藤委員

国立感染症研究所  
感染症情報センター長

岡部委員

たまひよコミュニケーション  
ディレクター

蒲生委員

群馬県衛生研究所長

小澤委員

東京都福祉保健局  
技監

櫻山委員

文部科学省学校教育課  
有賀専門官

畑農課長補佐

武田薬品工業ワクチン  
グループマネージャー

佐藤委員

江戸川保健所長

佐藤委員

国立感染症研究所  
ウイルス第三部長

竹田委員

SSPE青空の会副会長

畑委員

阪大微生物病研究会東京  
事務所長

福田委員

日本医師会常任理事

保坂委員

麻しん対策技術支援  
チーム

島田 智恵

永井課長補佐

林課長補佐

原田課長補佐

亀井課長

外山健康局長

中島室長

梅澤課長補佐

# 第6回麻しん対策推進会議

## — 議事次第 —

平成22年11月1日(月)  
15時30分～17時30分  
厚生労働省専用第12会議室

### I 開 会

### II 議 事

#### 1 報告事項

- (1) 麻しんの発生状況について
- (2) 平成21年度麻しん風しん予防接種の実施状況について
- (3) 平成21年度の都道府県における麻しん対策の取組状況について
- (4) 厚生労働省及び文部科学省の取組について

#### 2 検討事項

- (1) 麻しんのPCR検査の実施について
- (2) 海外へ修学旅行に行く高校2年生に対する予防接種の実施について

#### 3 その他の事項

- (1) 世界の麻しん排除に向けた動き
- (2) 平成23年度以降の取組について

### III 閉 会

#### ( 資 料 )

- 資料1 麻しんの発生状況について
- 資料2 平成21年度麻しん風しんの予防接種の実施状況について
- 資料3 平成21年度 都道府県における麻しん対策取り組み状況評価
- 資料4-1 厚生労働省の取組について
- 資料4-2 文部科学省の取組について
- 資料5 麻しんの検査診断(PCR法等)の必要性について
- 資料6 海外へ修学旅行に行く高校2年生に対する予防接種の実施について(案)
- 資料7 世界の麻しん排除に向けた動き
- 資料8 平成23年度以降の取組について

## 麻しん対策推進会議構成員名簿

(五十音順)

氏 名	所 属
石 井 博 臣	社団法人全国高等学校PTA連合会理事
衛 藤 隆	日本子ども家庭総合研究所母子保健研究部部長
岡 部 信 彦	国立感染症研究所感染症情報センター長
荊 尾 玲 子	島根県奥出雲町立三沢小学校教頭
加 藤 達 夫	国立成育医療研究センター理事長・総長
蒲 生 真 美	たまひよコミュニケーションディレクター
金 城 綾 乃	(Kiroro)ビクターミュージックアーツ株式会社
小 澤 邦 寿	群馬県衛生研究所長
櫻 山 豊 夫	東京都福祉保健局技監
佐 藤 秀 一 郎	武田薬品株式会社ワクチングループマネージャー
佐 藤 恭 信	江戸川保健所長
竹 田 誠	国立感染症研究所ウイルス第三部長
玉 城 千 春	(Kiroro)ビクターミュージックアーツ株式会社
畑 秀 二	SSPE青空の会副会長
福 田 仁 史	財団法人阪大微生物病研究会東京事務所長
保 坂 シ ゲ リ	社団法人日本医師会常任理事



# 麻疹の発生状況

国立感染症研究所・麻疹対策技術支援チーム



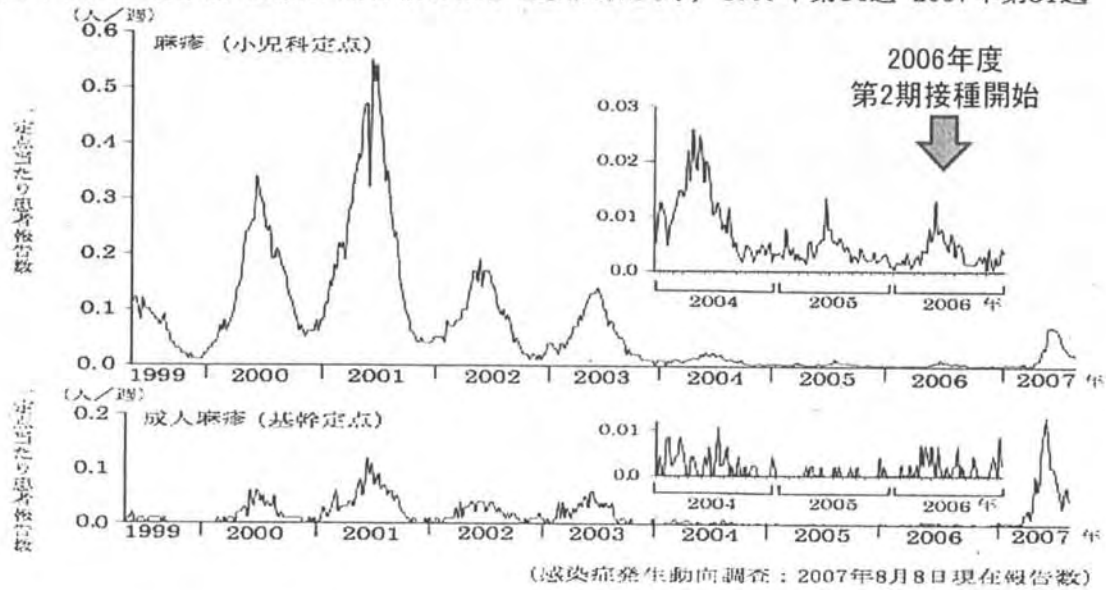
## 発表の内容

- 麻疹の定点報告数の推移
- 全数把握疾患へ変更(2008年1月)以後の発生動向
  - 背景
  - 週別報告数の推移
  - 人口百万対報告数の推移
  - 年齢別報告数の推移
  - 病型別報告数の推移
  - 麻疹「輸入」例の推移
- 人口動態調査における麻疹が死因となった死亡者数の推移



# 麻疹週別定点報告数の推移 1999年～2007年

図1. 麻疹・成人麻疹患者報告数の推移(定点当たり), 1999年第14週-2007年第31週



**IASR**

Infectious Agents Surveillance Report

IASR Vol.28 No.9 (No.331), 2007. <http://idsc.nih.gov.jp/iasr/28/331/graph/f3311j.gif>



## 発生動向調査における変更点

- 日本を含む世界保健機関(WHO)西太平洋地域の加盟国:2005年9月の年次総会において2012年までに麻疹排除を達成させることを決議。
- 厚生労働省:2007年12月、「麻疹に関する特定感染症予防指針」をとりまとめ、2012年度までに麻疹排除達成することを正式に国の目標とすると発表。

→ そのための施策の一つとして2008年1月より、麻疹は五類定点報告疾患から五類全数報告疾患となった。

【病型】臨床診断例:発熱・発疹・カタル症状すべて

検査診断例:上記3症状+検査診断

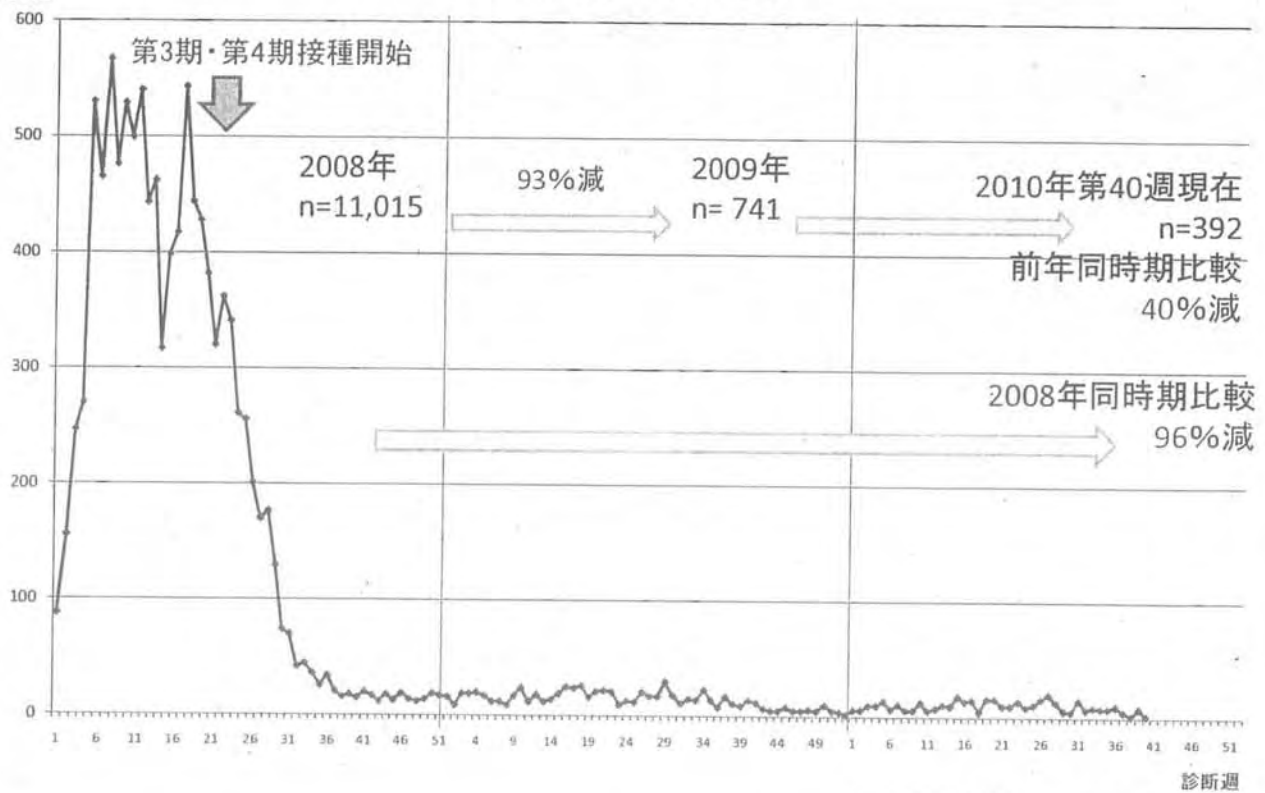
修飾麻疹:いずれかの症状+検査診断



# 週別麻疹報告数の推移

## 2008～2010

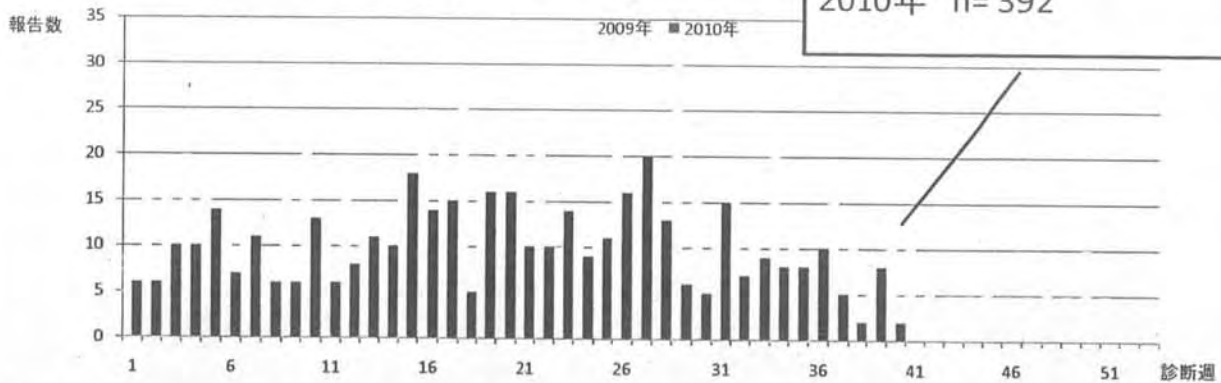
報告数



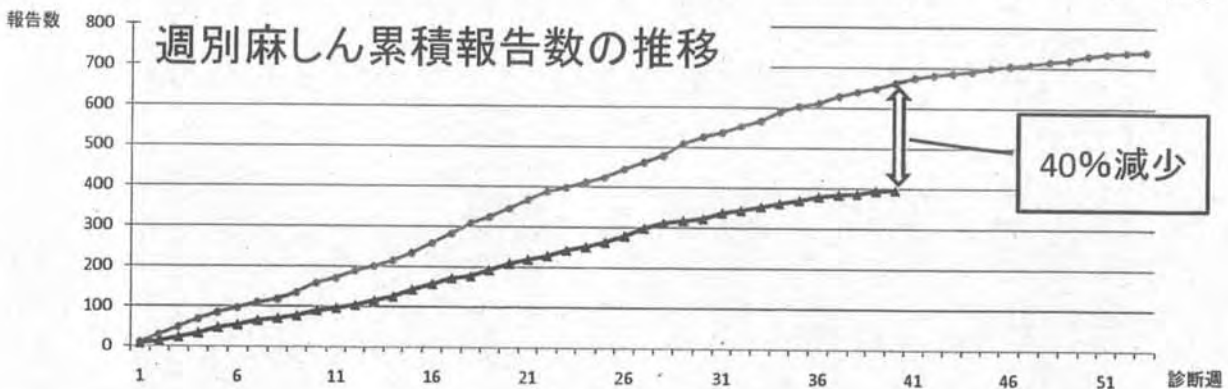
# 2009年～2010年第40週 週別麻疹報告数の推移

2009年 n= 662(第40週時点)

2010年 n= 392

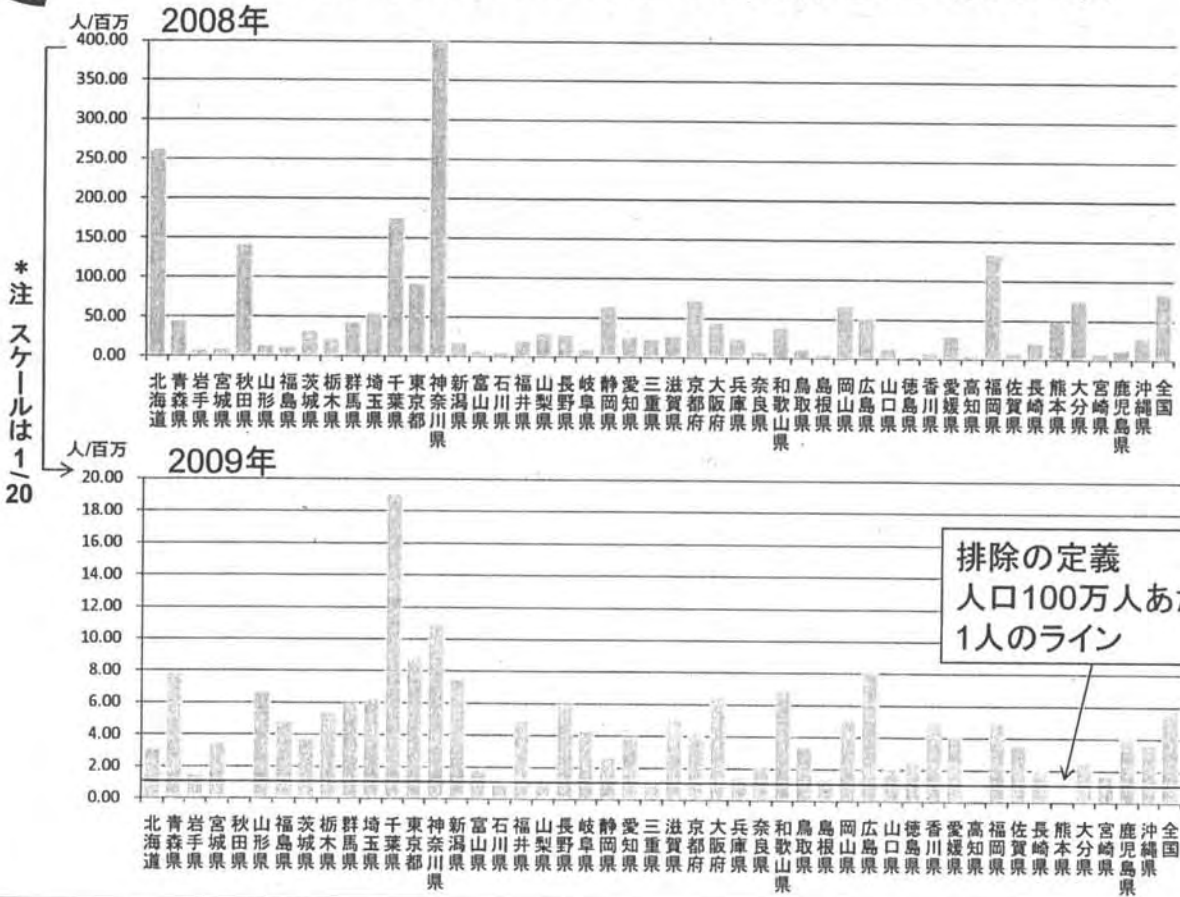


# 週別麻疹累積報告数の推移

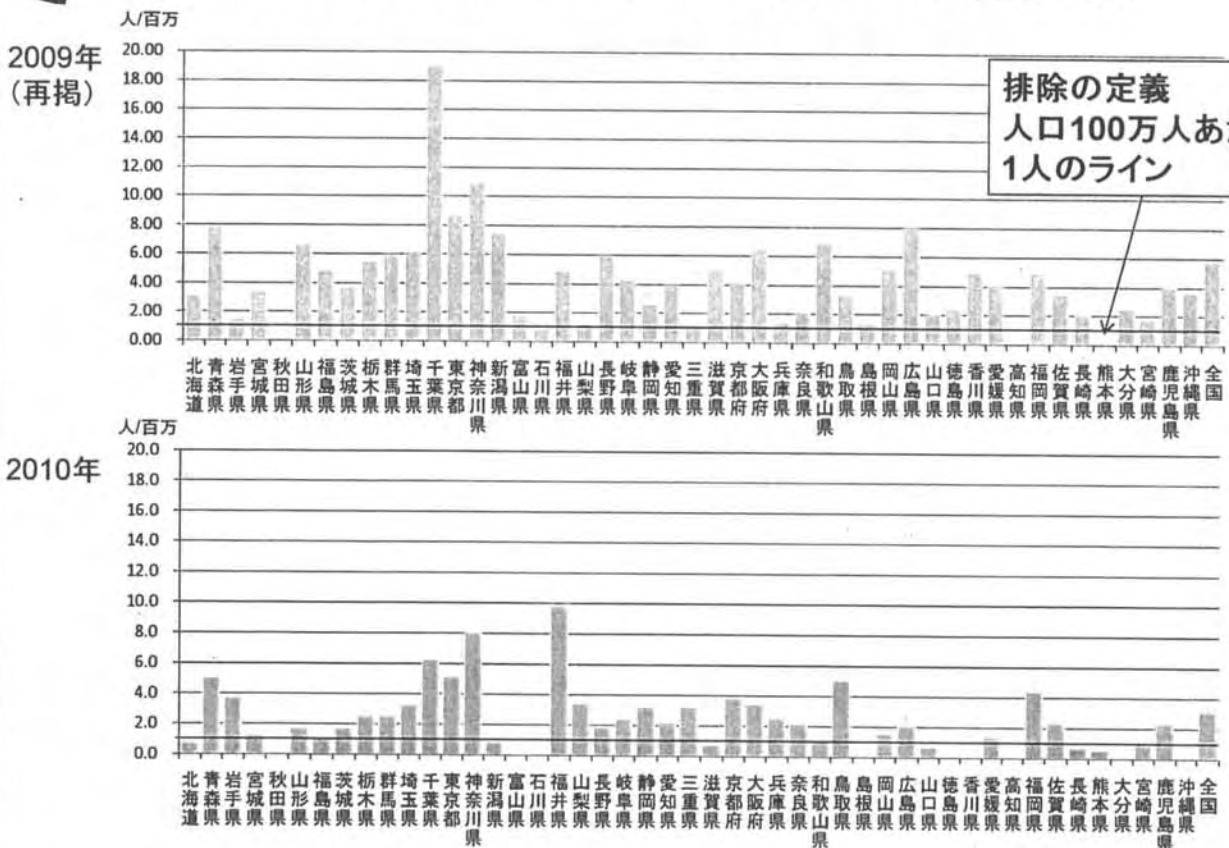




# 都道府県別人口百万対麻しん報告数



# 都道府県別人口百万対麻しん報告数

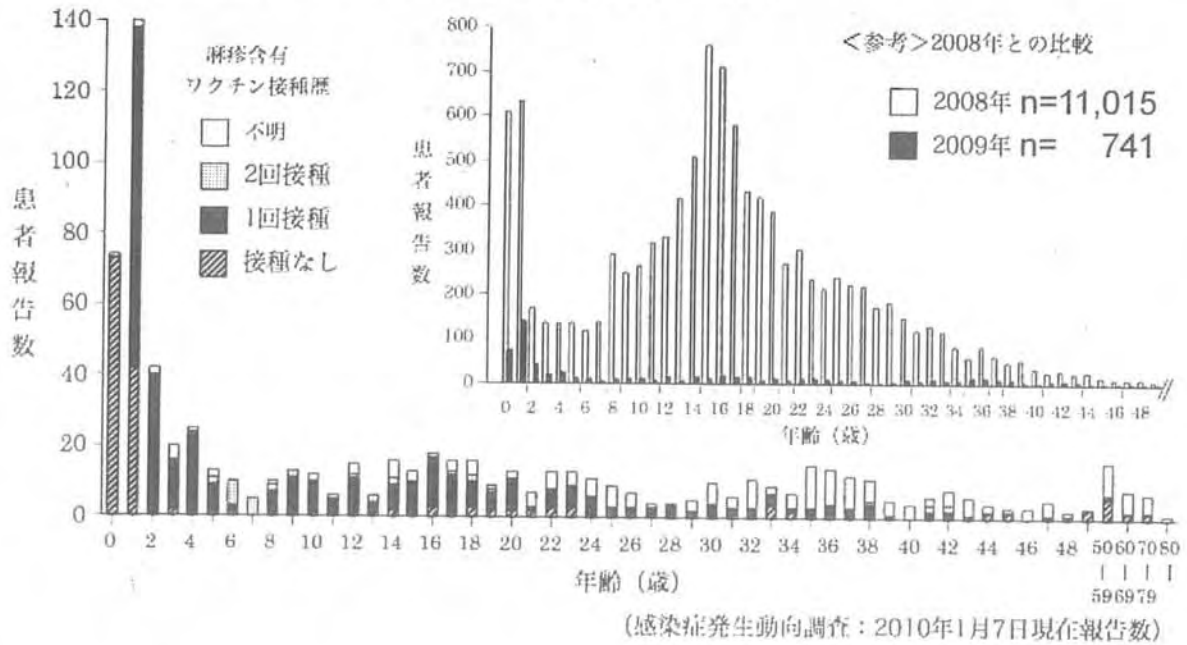






# 年齢別接種歴別麻疹累積報告数

図3. 麻疹患者のワクチン接種歴別年齢分布, 2009年



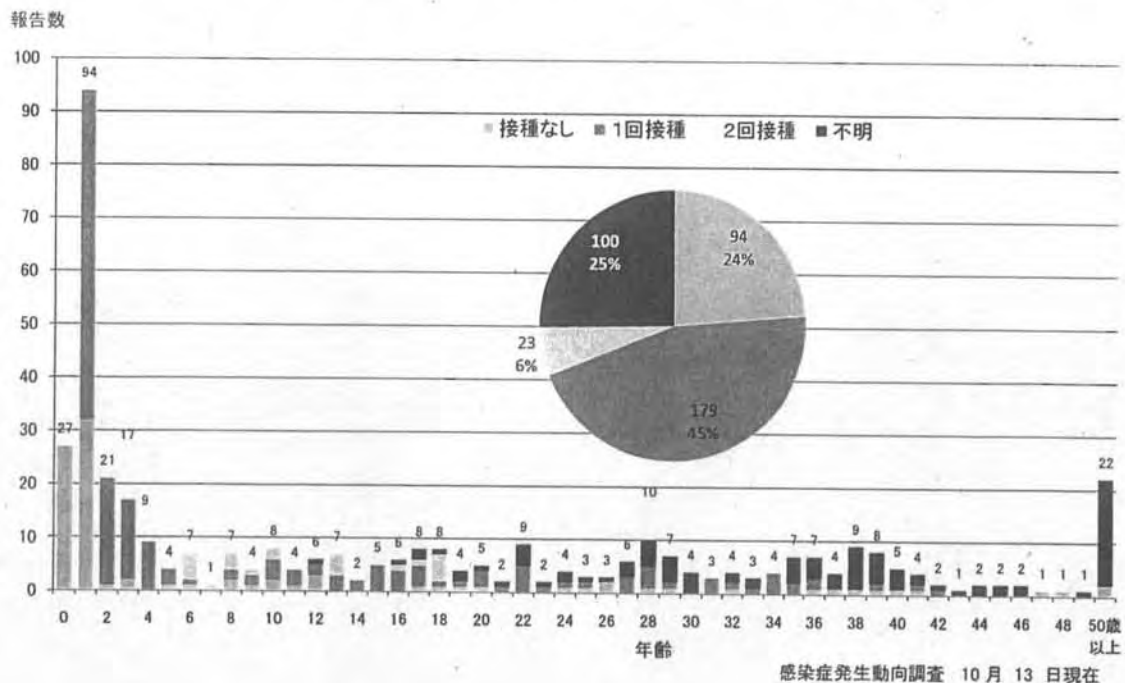
**IASR**

Infectious Agents Surveillance Report

IASR Vol.31 No.2 (No.360) 2010. <http://idsc.nih.gov/iasr/31/360/tpc360-j.html>



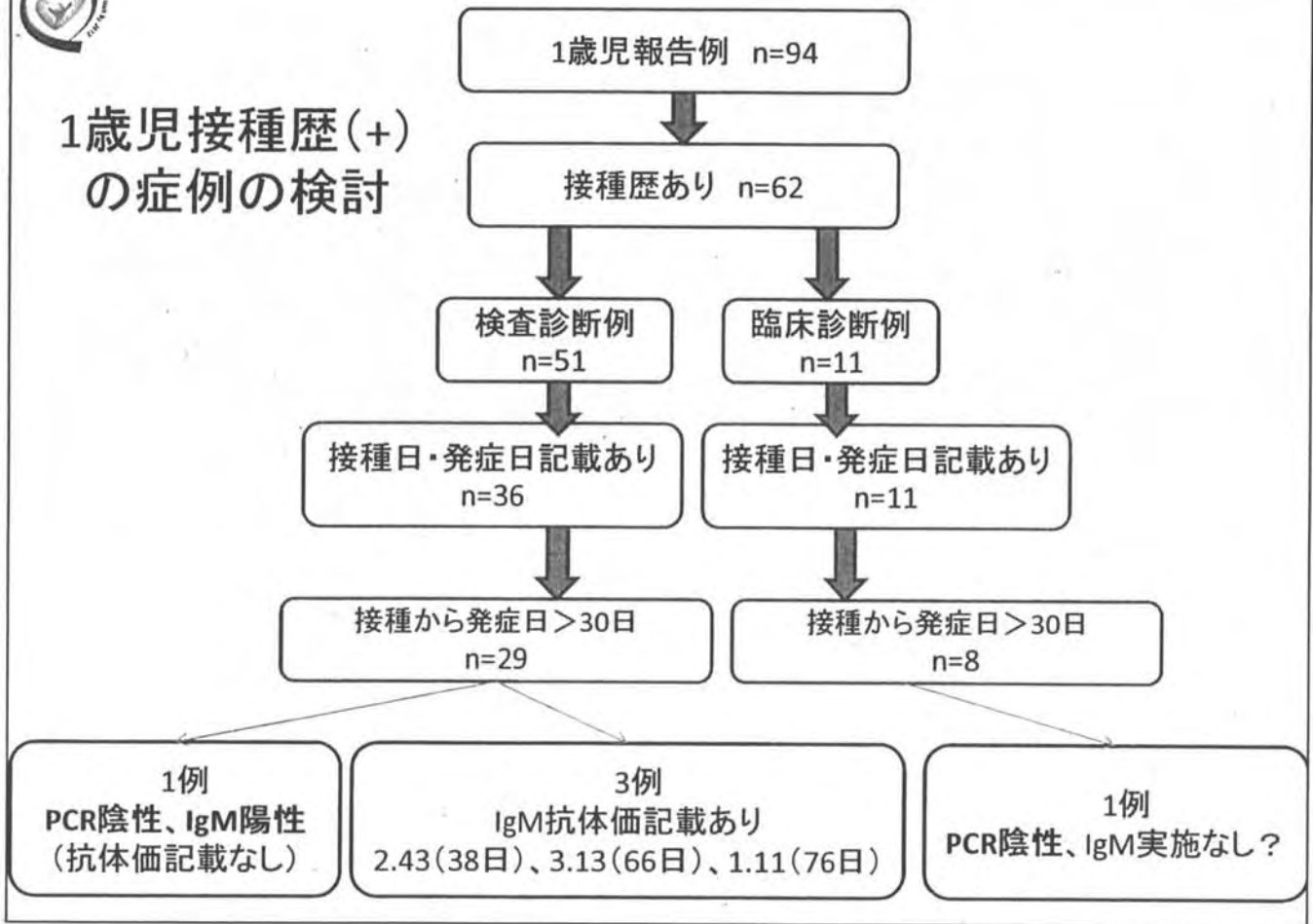
# 年齢別接種歴別麻疹累積報告数 2010年第1週~40週 (n=396)



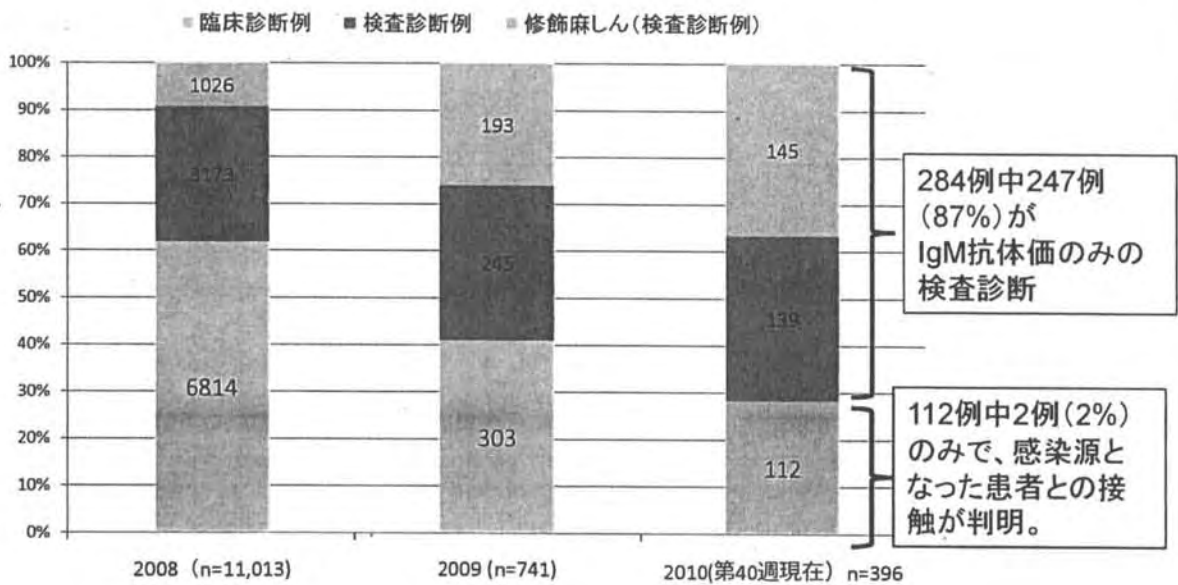




## 1歳児接種歴(+) の症例の検討



## 病型別麻疹報告数・割合の推移 2008～2010年第40週





## 麻疹輸入例（感染地域が国外と報告された症例）

	2008年	2009年	2010年*
輸入例 (n、累積報告数 に占める割合%)	27(0.3)	17(2.3)	18(4.6)
遺伝子型判明例 (n、輸入例に占め る割合%)	0(0)	1(5.9)	4(22.2)
累積報告数	11,015	741	392

\* 第1～40週まで



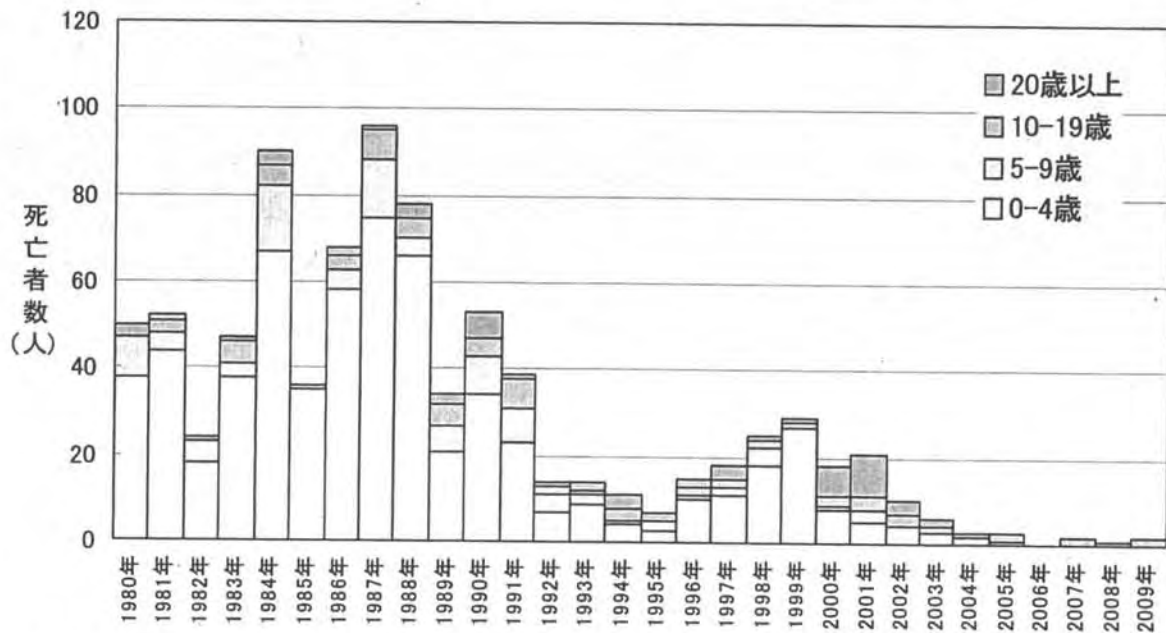
## 麻疹輸入例 2010年第1～40週 (n = 18)

感染推定地域	報告数 n=18	遺伝子型判明例 n=4	遺伝子型
フィリピン	7	2*	D9
中国	6	1	H1
インド	1	1	D8
カンボジア	1	0	
ベトナム	1	0	
台湾/フィリピン	1	0	
イタリア	1	0	

\* { 1例: フィリピンより帰国の8歳児(0歳児に麻疹と診断され接種歴なし)  
1例: フィリピンより帰国の1歳児→日本国内で姉に感染 (D9)



## 麻疹が死因となった死亡者数 1980-2009年(人口動態統計より)



1991年までは毎年40例前後、1992年～2001年には20例前後の死亡者が報告されており、5歳未満の小児が中心にあった。幸い、近年、麻疹による死亡は減ったが、その多くが成人。



## まとめと今後の課題

- 2010年第40週までの累積報告数は、2008年の同時期と比較して96%減少し、396例であった。
- 2008年まで好発年齢層は10代が中心だったが、2009年以降は0～1歳が中心である。
- 地域での流行が認められなくなり、報告例のほとんどが、感染源不明の孤発例となっている。
- 「輸入例」が相対的に増加している。
- 検査診断例が60%を超えるようになったが、IgM抗体価のみで診断されている症例が87%を占める。弱陽性の場合の判断など、診断に難渋する例が相対的に増えている。
- PCR検査が陰性であっても、IgM抗体価弱陽性という結果で検査診断例として報告されている例が少なくない〔記載されているだけで9例(検査診断例の3%)〕。

→ 正確な検査診断例が報告される仕組みが必要

## 平成 21 年度麻疹風しんの予防接種の実施状況について

## (結果の概要)

- 第 1 期接種及び第 2 期接種は、それぞれ全国平均で 93.6%、92.3%となっており、平成 20 年度より導入された第 3 期接種、第 4 期接種は、それぞれ全国平均で 85.9%、77.0%となっている。
- 各対象期において、自治体ごとにある程度の接種率の高低差がみられる。
- 平成 20 年度と比較するとほぼ同率で推移している。

	第 1 期	第 2 期	第 3 期	第 4 期
全国	93.6%	92.3%	85.9%	77.0%
平成20年度	94.3%	91.8%	85.1%	77.3%
差し引き	△0.7%	0.4%	0.8%	△0.4%
最高	96.7%	97.1%	97.0%	91.7%
平成20年度	97.9%	97.3%	95.1%	91.0%
最低	87.2%	87.8%	76.0%	58.6%
平成20年度	88.2%	88.1%	75.8%	60.7%

総合表： 都道府県別麻疹ワクチン接種率 2009年度最終評価 接種対象群別結果一覧

2009年4月1日～2010年3月31日分

各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

#	都道府県	第1期	第2期	第3期	第4期
1	北海道	96.2	92.4	78.9	75.8
2	青森県	87.2	93.4	92.1	85.8
3	岩手県	96.1	94.4	90.7	91.3
4	宮城県	94.0	94.0	90.5	82.1
5	秋田県	94.2	97.1	94.2	88.6
6	山形県	93.9	95.4	94.2	91.7
7	福島県	91.5	92.9	88.8	81.0
8	茨城県	90.4	95.0	97.0	81.3
9	栃木県	92.8	93.1	94.3	83.7
10	群馬県	94.4	94.1	92.3	79.5
11	埼玉県	94.7	93.8	84.8	73.0
12	千葉県	94.1	92.8	86.0	68.9
13	東京都	93.2	89.8	81.2	62.1
14	神奈川県	94.2	89.7	76.0	58.6
15	新潟県	95.8	96.3	93.0	89.9
16	富山県	96.7	96.0	96.2	88.7
17	石川県	94.7	94.9	91.9	87.4
18	福井県	93.6	95.6	94.8	90.2
19	山梨県	90.7	92.3	83.4	79.6
20	長野県	91.2	92.2	92.3	86.2
21	岐阜県	94.1	92.6	90.1	83.5
22	静岡県	92.6	91.7	89.7	84.6
23	愛知県	94.8	93.4	85.9	83.0
24	三重県	95.2	93.5	86.7	84.6
25	滋賀県	94.7	91.7	85.9	78.8
26	京都府	96.5	94.2	93.5	79.9
27	大阪府	93.7	88.9	79.9	68.1
28	兵庫県	93.2	92.5	86.1	78.7
29	奈良県	89.8	92.0	83.8	78.5
30	和歌山県	93.5	94.7	92.7	84.7
31	鳥取県	95.6	94.1	90.6	84.8
32	島根県	95.2	95.3	93.0	89.7
33	岡山県	95.0	94.6	88.3	78.2
34	広島県	93.2	91.4	84.2	73.3
35	山口県	92.4	92.4	86.4	82.5
36	徳島県	94.1	94.1	87.4	83.5
37	香川県	93.4	94.2	88.5	83.2
38	愛媛県	92.0	95.0	90.0	85.9
39	高知県	91.9	88.4	80.2	77.1
40	福岡県	89.7	91.8	80.0	78.3
41	佐賀県	91.4	93.1	92.0	89.1
42	長崎県	91.3	91.9	88.6	84.6
43	熊本県	93.1	93.1	89.3	85.3
44	大分県	93.6	93.2	87.4	74.9
45	宮崎県	93.6	91.6	88.5	82.2
46	鹿児島県	91.8	87.8	79.4	81.1
47	沖縄県	91.5	88.6	84.4	76.5
	全国	93.6	92.3	85.9	77.0

表 I-1. 2009年度 第1期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2010年3月31日現在、最終評価

2009年度  
第1期

順位は、麻しんワクチン接種率⑤に基づく

接種対象者数①は、2009年10月1日現在の1歳児の数

②、③、④は2009年度における接種者の数

MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

順位	都道府県	麻しん風しん ワクチン接種 対象者数(人):①	MRワクチン 接種者数(人):②	麻しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):③	風しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):④	麻しんワクチン 接種率(%) :⑤=(②+③)/①× 100	風しんワクチン 接種率(%) :⑥=(②+④)/①× 100
1	富山県	8,705	8,418	2	1	96.7	96.7
2	京都府	21,655	20,890	13	5	96.5	96.5
3	北海道	40,577	39,005	11	9	96.2	96.1
4	岩手県	10,000	9,609	0	1	96.1	96.1
5	新潟県	18,620	17,843	4	3	95.8	95.8
6	鳥取県	4,987	4,769	1	0	95.6	95.6
7	三重県	15,944	15,185	1	0	95.2	95.2
	島根県	5,775	5,494	1	0	95.2	95.1
9	岡山県	17,033	16,180	8	15	95.0	95.1
10	愛知県	72,198	68,397	30	15	94.8	94.8
	埼玉県	62,226	58,924	11	18	94.7	94.7
11	石川県	10,302	9,755	0	0	94.7	94.7
	滋賀県	13,822	13,081	2	1	94.7	94.6
14	群馬県	17,498	16,506	14	0	94.4	94.3
15	秋田県	7,543	7,108	1	0	94.2	94.2
	神奈川県	80,816	76,117	39	36	94.2	94.2
	千葉県	53,684	50,530	6	13	94.1	94.1
17	岐阜県	18,389	17,296	4	4	94.1	94.1
	徳島県	5,989	5,633	0	0	94.1	94.1
20	宮城県	20,133	18,917	0	3	94.0	94.0
21	山形県	9,187	8,625	1	0	93.9	93.9
22	大阪府	77,038	72,166	36	24	93.7	93.7
	福井県	7,392	6,916	1	0	93.6	93.6
23	宮崎県	10,062	9,415	0	0	93.6	93.6
	大分県	10,266	9,600	4	1	93.6	93.5
26	和歌山県	7,942	7,423	1	0	93.5	93.5
27	香川県	8,680	8,106	1	0	93.4	93.4
	兵庫県	50,104	46,691	4	5	93.2	93.2
28	広島県	25,722	23,962	2	4	93.2	93.2
	東京都	107,177	99,799	51	41	93.2	93.2
31	熊本県	16,237	15,118	6	1	93.1	93.1
32	栃木県	17,484	16,231	2	1	92.8	92.8
33	静岡県	33,924	31,406	3	9	92.6	92.6
34	山口県	11,816	10,918	4	0	92.4	92.4
35	愛媛県	23,610	21,714	2	2	92.0	92.0
36	高知県	5,772	5,306	0	1	91.9	91.9
37	鹿児島県	15,419	14,157	2	1	91.8	91.8
38	沖縄県	17,169	15,711	0	0	91.5	91.5
	福島県	16,918	15,472	3	0	91.5	91.5
40	佐賀県	7,999	7,309	2	3	91.4	91.4
41	長崎県	12,127	11,073	0	2	91.3	91.3
42	長野県	18,372	16,754	6	3	91.2	91.2
43	山梨県	7,159	6,494	0	2	90.7	90.7
44	茨城県	25,302	22,883	2	11	90.4	90.5
45	奈良県	11,437	10,272	2	3	89.8	89.8
46	福岡県	20,444	18,333	3	3	89.7	89.7
47	青森県	10,694	9,318	4	0	87.2	87.1
	全国	1,091,349	1,020,829	290	241	93.6	93.6

表 I-2. 2009年度第1期麻疹ワクチン接種率 昨年度との比較

2009年度 最終評価① による順位	都道府県	第1期麻疹ワクチン接種率 (%)		昨年度との比較 (ポイント)
		2009年度 最終評価(%):①	2008年度 最終評価(%):②	①-② (ポイント)
1	富山県	96.7	93.4	3.4
2	京都府	96.5	94.7	1.8
3	北海道	96.2	95.2	0.9
4	岩手県	96.1	95.5	0.6
5	新潟県	95.8	96.4	-0.5
6	鳥取県	95.6	95.2	0.5
7	三重県	95.2	98.5	-3.3
	島根県	95.2	93.6	1.6
9	岡山県	95.0	94.8	0.2
10	愛知県	94.8	95.8	-1.0
11	埼玉県	94.7	93.2	1.5
	石川県	94.7	93.9	0.8
	滋賀県	94.7	89.1	5.5
14	群馬県	94.4	93.9	0.5
15	秋田県	94.2	88.2	6.1
	神奈川県	94.2	93.6	0.6
17	千葉県	94.1	94.9	-0.7
	岐阜県	94.1	97.0	-2.9
	徳島県	94.1	96.1	-2.1
20	宮城県	94.0	96.6	-2.6
21	山形県	93.9	91.2	2.7
22	大阪府	93.7	94.1	-0.4
23	福井県	93.6	97.0	-3.4
	宮崎県	93.6	95.2	-1.6
	大分県	93.6	93.4	0.1
26	和歌山県	93.5	93.0	0.4
27	香川県	93.4	92.9	0.4
28	兵庫県	93.2	94.0	-0.8
	広島県	93.2	92.3	0.8
	東京都	93.2	95.7	-2.6
31	熊本県	93.1	90.7	2.5
32	栃木県	92.8	93.7	-0.9
33	静岡県	92.6	94.1	-1.5
34	山口県	92.4	96.7	-4.3
35	愛媛県	92.0	95.1	-3.2
36	高知県	91.9	93.4	-1.5
37	鹿児島県	91.8	93.5	-1.6
38	沖縄県	91.5	97.9	-6.4
	福島県	91.5	92.8	-1.3
40	佐賀県	91.4	96.6	-5.2
41	長崎県	91.3	92.0	-0.7
42	長野県	91.2	93.8	-2.6
43	山梨県	90.7	93.8	-3.1
44	茨城県	90.4	91.7	-1.3
45	奈良県	89.8	92.5	-2.7
46	福岡県	89.7	92.5	-2.8
47	青森県	87.2	94.3	-7.1
	全国	93.6	94.3	-0.7

接種率、昨年度との比較は、小数点第二位以下を四捨五入



表Ⅱ-1. 2009年度 第2期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2010年3月31日現在、最終評価

順位は、麻しんワクチン接種率⑤に基づく  
 MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン  
 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

2009年度  
 第2期

順位	都道府県	麻しん風しん ワクチン接種 対象者数(人):①	MRワクチン 接種者数(人):②	麻しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):③	風しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):④	麻しんワクチン 接種率(%) :⑤=(②+③)/① × 100	風しんワクチン 接種率(%) :⑥=(②+④)/① × 100
1	秋田県	8,092	7,859	0	0	97.1	97.1
2	新潟県	20,014	19,274	4	3	96.3	96.3
3	富山県	9,670	9,280	3	3	96.0	96.0
4	福井県	7,423	7,097	0	1	95.6	95.6
5	山形県	9,932	9,480	0	0	95.4	95.4
6	島根県	6,063	5,776	1	1	95.3	95.3
7	茨城県	26,808	25,469	5	6	95.0	95.0
	愛媛県	25,116	23,856	4	4	95.0	95.0
9	石川県	10,847	10,296	0	0	94.9	94.9
10	和歌山県	8,622	8,165	2	1	94.7	94.7
11	岡山県	17,819	16,847	11	7	94.6	94.6
12	岩手県	11,419	10,780	1	3	94.4	94.4
13	香川県	9,091	8,566	0	1	94.2	94.2
	京都府	22,310	21,009	8	4	94.2	94.2
15	鳥取県	5,393	5,077	0	1	94.1	94.2
	徳島県	6,472	6,089	0	1	94.1	94.1
	群馬県	18,846	17,718	7	3	94.1	94.0
18	宮城県	20,829	19,568	2	3	94.0	94.0
19	埼玉県	64,217	60,237	13	20	93.8	93.8
20	三重県	17,206	16,084	3	1	93.5	93.5
21	愛知県	71,147	66,460	12	6	93.4	93.4
	青森県	11,572	10,803	6	1	93.4	93.4
23	大分県	10,304	9,605	3	4	93.2	93.3
24	栃木県	18,537	17,264	2	6	93.1	93.2
	熊本県	16,447	15,315	1	0	93.1	93.1
	佐賀県	8,032	7,476	3	1	93.1	93.1
27	福島県	18,689	17,360	3	3	92.9	92.9
28	千葉県	54,872	50,938	8	20	92.8	92.9
29	岐阜県	19,791	18,325	2	4	92.6	92.6
30	兵庫県	51,106	47,253	3	6	92.5	92.5
31	北海道	44,523	41,147	6	3	92.4	92.4
	山口県	12,265	11,331	5	0	92.4	92.4
33	山梨県	7,749	7,150	0	2	92.3	92.3
34	長野県	19,855	18,298	4	3	92.2	92.2
35	奈良県	12,390	11,392	1	2	92.0	92.0
36	長崎県	12,797	11,761	3	1	91.9	91.9
37	福岡県	20,369	18,697	2	2	91.8	91.8
38	滋賀県	14,347	13,154	1	0	91.7	91.7
	静岡県	35,004	32,092	3	6	91.7	91.7
40	宮崎県	10,155	9,299	0	0	91.6	91.6
41	広島県	26,265	24,007	3	0	91.4	91.4
42	東京都	100,338	90,107	28	36	89.8	89.8
43	神奈川県	80,731	72,383	41	28	89.7	89.7
44	大阪府	79,302	70,467	41	18	88.9	88.9
45	沖縄県	16,481	14,607	0	0	88.6	88.6
46	高知県	6,143	5,427	1	1	88.4	88.4
47	鹿児島県	15,624	13,719	1	1	87.8	87.8
	全国	1,121,024	1,034,364	247	217	92.3	92.3

表Ⅱ-2. 2009年度第2期麻疹ワクチン接種率 昨年度との比較

2009年度 最終評価① による順位	都道府県	第2期麻疹ワクチン接種率 (%)		昨年度との比較 (ポイント)
		2009年度 最終評価(%):①	2008年度 最終評価(%):②	①-② (ポイント)
1	秋田県	97.1	97.3	-0.2
2	新潟県	96.3	95.6	0.7
3	富山県	96.0	95.5	0.5
4	福井県	95.6	96.0	-0.4
5	山形県	95.4	95.2	0.2
6	島根県	95.3	93.9	1.4
7	茨城県	95.0	93.9	1.1
	愛媛県	95.0	95.0	0.0
9	石川県	94.9	94.8	0.2
10	和歌山県	94.7	92.1	2.7
11	岡山県	94.6	94.2	0.4
12	岩手県	94.4	95.1	-0.7
13	香川県	94.2	93.2	1.0
	京都府	94.2	92.8	1.4
15	鳥取県	94.1	95.3	-1.1
	徳島県	94.1	93.2	0.8
	群馬県	94.1	93.5	0.5
18	宮城県	94.0	92.7	1.3
19	埼玉県	93.8	92.1	1.7
20	三重県	93.5	94.3	-0.8
21	愛知県	93.4	92.5	0.9
	青森県	93.4	94.4	-1.0
23	大分県	93.2	91.5	1.8
24	栃木県	93.1	91.2	1.9
	熊本県	93.1	92.8	0.3
	佐賀県	93.1	96.3	-3.2
27	福島県	92.9	92.5	0.4
28	千葉県	92.8	92.5	0.4
29	岐阜県	92.6	91.3	1.3
30	兵庫県	92.5	93.7	-1.2
31	北海道	92.4	92.3	0.1
	山口県	92.4	91.5	1.0
33	山梨県	92.3	92.1	0.1
34	長野県	92.2	93.1	-0.9
35	奈良県	92.0	91.1	0.8
36	長崎県	91.9	92.6	-0.7
37	福岡県	91.8	91.8	0.0
38	滋賀県	91.7	92.2	-0.6
	静岡県	91.7	91.8	-0.1
40	宮崎県	91.6	91.5	0.1
41	広島県	91.4	90.6	0.8
42	東京都	89.8	88.3	1.6
43	神奈川県	89.7	90.1	-0.3
44	大阪府	88.9	88.8	0.1
45	沖縄県	88.6	88.1	0.5
46	高知県	88.4	89.9	-1.6
47	鹿児島県	87.8	88.8	-1.0
	全国	92.3	91.8	0.4

接種率、昨年度との比較は、小数点第二位以下を四捨五入

表Ⅲ-1. 2009年度 第3期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2010年3月31日現在、最終評価

順位は、麻しんワクチン接種率⑤に基づく  
 MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン  
 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

2009年度  
 第3期

順位	都道府県	麻しん風しん ワクチン接種 対象者数(人):①	MRワクチン 接種者数(人):②	麻しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):③	風しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):④	麻しんワクチン 接種率(%) :⑤=(②+③)/①× 100	風しんワクチン 接種率(%) :⑥=(②+④)/①× 100
1	茨城県	29,081	28,203	3	12	97.0	97.0
2	富山県	10,446	10,050	1	4	96.2	96.2
3	福井県	8,348	7,916	1	3	94.8	94.9
4	栃木県	19,215	18,126	0	4	94.3	94.4
5	秋田県	9,862	9,290	1	10	94.2	94.3
	山形県	11,476	10,807	0	2	94.2	94.2
7	京都府	23,886	22,327	12	16	93.5	93.5
8	新潟県	23,044	21,435	1	14	93.0	93.1
	島根県	6,835	6,356	0	1	93.0	93.0
10	和歌山県	10,085	9,347	2	6	92.7	92.7
11	群馬県	20,596	19,002	15	14	92.3	92.3
	長野県	21,420	19,759	6	8	92.3	92.3
13	青森県	13,968	12,865	2	6	92.1	92.1
14	佐賀県	9,040	8,319	0	2	92.0	92.0
15	石川県	11,409	10,482	1	2	91.9	91.9
16	岩手県	12,815	11,619	2	3	90.7	90.7
17	鳥取県	5,737	5,195	2	0	90.6	90.6
18	宮城県	22,143	20,027	2	10	90.5	90.5
19	岐阜県	21,474	19,339	4	19	90.1	90.1
20	愛媛県	27,692	24,908	16	14	90.0	90.0
21	静岡県	36,567	32,789	9	13	89.7	89.7
22	熊本県	18,224	16,264	4	10	89.3	89.3
23	福島県	20,994	18,633	2	8	88.8	88.8
24	長崎県	14,799	13,103	4	5	88.6	88.6
25	宮崎県	11,496	10,175	4	1	88.5	88.5
	香川県	9,433	8,344	1	9	88.5	88.6
27	岡山県	19,259	16,994	18	24	88.3	88.4
28	徳島県	7,325	6,403	2	3	87.4	87.5
	大分県	11,391	9,952	3	13	87.4	87.5
30	三重県	18,464	16,010	3	5	86.7	86.7
31	山口県	13,496	11,644	11	7	86.4	86.3
32	兵庫県	54,236	46,674	22	30	86.1	86.1
33	千葉県	56,458	48,554	11	77	86.0	86.1
34	愛知県	73,013	62,719	15	41	85.9	86.0
	滋賀県	14,442	12,391	8	16	85.9	85.9
36	埼玉県	68,808	58,337	19	58	84.8	84.9
37	沖縄県	17,476	14,750	0	0	84.4	84.4
38	広島県	27,553	23,173	22	11	84.2	84.1
39	奈良県	13,787	11,550	0	11	83.8	83.9
40	山梨県	8,970	7,482	1	8	83.4	83.5
41	東京都	100,228	81,336	28	101	81.2	81.3
42	高知県	7,131	5,720	2	3	80.2	80.3
43	福岡県	22,416	17,926	1	8	80.0	80.0
44	大阪府	84,006	66,971	141	114	79.9	79.9
45	鹿児島県	17,092	13,565	4	17	79.4	79.5
46	北海道	48,789	38,466	25	21	78.9	78.9
47	神奈川県	80,453	61,119	45	111	76.0	76.1
	全国	1,194,878	1,026,416	476	875	85.9	86.0

表Ⅲ-2. 2009年度第3期麻疹ワクチン接種率の昨年度評価との比較

2009年度 最終評価① による順位	都道府県	第3期麻疹ワクチン接種率 (%)		昨年度との比較 (ポイント)
		2009年度 最終評価(%):①	2008年度 最終評価(%):②	①-② (ポイント)
1	茨城県	97.0	95.1	1.9
2	富山県	96.2	95.3	0.9
3	福井県	94.8	95.5	-0.7
4	栃木県	94.3	92.7	1.6
5	秋田県	94.2	94.9	-0.7
	山形県	94.2	93.7	0.5
7	京都府	93.5	87.3	6.3
8	新潟県	93.0	94.2	-1.2
	島根県	93.0	91.7	1.3
10	和歌山県	92.7	90.6	2.1
11	群馬県	92.3	90.8	1.6
	長野県	92.3	93.6	-1.4
13	青森県	92.1	91.1	1.0
14	佐賀県	92.0	92.3	-0.2
15	石川県	91.9	92.5	-0.6
16	岩手県	90.7	89.3	1.4
17	鳥取県	90.6	92.0	-1.4
18	宮城県	90.5	88.9	1.5
19	岐阜県	90.1	88.3	1.8
20	愛媛県	90.0	90.6	-0.6
21	静岡県	89.7	89.4	0.3
22	熊本県	89.3	91.7	-2.4
23	福島県	88.8	86.9	1.8
24	長崎県	88.6	89.9	-1.4
25	宮崎県	88.5	88.4	0.1
	香川県	88.5	90.8	-2.3
27	岡山県	88.3	89.3	-1.0
28	徳島県	87.4	90.0	-2.5
	大分県	87.4	85.7	1.7
30	三重県	86.7	86.0	0.7
31	山口県	86.4	88.9	-2.5
32	兵庫県	86.1	85.0	1.1
33	千葉県	86.0	90.1	-4.0
34	愛知県	85.9	84.2	1.7
	滋賀県	85.9	85.4	0.5
36	埼玉県	84.8	86.1	-1.2
37	沖縄県	84.4	84.3	0.1
38	広島県	84.2	81.0	3.2
39	奈良県	83.8	84.5	-0.7
40	山梨県	83.4	85.8	-2.4
41	東京都	81.2	75.8	5.4
42	高知県	80.2	82.3	-2.1
43	福岡県	80.0	75.7	4.2
44	大阪府	79.9	77.2	2.7
45	鹿児島県	79.4	83.1	-3.7
46	北海道	78.9	82.0	-3.1
47	神奈川県	76.0	77.8	-1.8
	全国	85.9	85.1	0.8

接種率、昨年度との比較は、小数点第二位以下を四捨五入

表IV-1. 2009年度 第4期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2010年3月31日現在、最終評価

順位は、麻しんワクチン接種率⑤に基づく  
 MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン  
 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

2009年度  
 第4期

順位	都道府県	麻しん風しん ワクチン接種 対象者数(人):①	MRワクチン 接種者数(人):②	麻しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):③	風しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):④	麻しんワクチン 接種率(%) :⑤=(②+③)/①× 100	風しんワクチン 接種率(%) :⑥=(②+④)/①× 100
1	山形県	12,645	11,590	4	11	91.7	91.7
2	岩手県	14,365	13,107	7	2	91.3	91.3
3	福井県	8,487	7,649	7	9	90.2	90.2
4	新潟県	24,591	22,107	9	14	89.9	90.0
5	島根県	7,603	6,812	5	11	89.7	89.7
6	佐賀県	9,731	8,660	8	6	89.1	89.1
7	富山県	10,354	9,181	6	18	88.7	88.8
8	秋田県	10,795	9,563	6	38	88.6	88.9
9	石川県	11,484	10,026	6	15	87.4	87.4
10	長野県	21,281	18,324	28	77	86.2	86.5
11	愛媛県	28,952	24,804	54	78	85.9	85.9
12	青森県	15,180	13,017	11	11	85.8	85.8
13	熊本県	19,431	16,566	14	13	85.3	85.3
14	鳥取県	6,212	5,264	6	3	84.8	84.8
15	和歌山県	10,505	8,889	7	11	84.7	84.7
16	三重県	18,808	15,910	7	9	84.6	84.6
	静岡県	37,686	31,847	30	62	84.6	84.7
	長崎県	16,166	13,653	16	13	84.6	84.5
19	栃木県	20,271	16,958	11	14	83.7	83.7
20	岐阜県	21,301	17,781	7	30	83.5	83.6
	徳島県	7,776	6,487	5	3	83.5	83.5
22	香川県	9,426	7,834	6	13	83.2	83.2
23	愛知県	69,578	57,712	34	73	83.0	83.1
24	山口県	14,220	11,711	14	15	82.5	82.5
25	宮崎県	11,920	9,775	23	19	82.2	82.2
26	宮城県	23,549	19,339	6	20	82.1	82.2
27	茨城県	30,432	24,742	11	50	81.3	81.5
28	鹿児島県	18,792	15,232	5	21	81.1	81.2
29	福島県	23,107	18,696	10	19	81.0	81.0
30	京都府	23,100	18,397	50	46	79.9	79.8
31	山梨県	9,425	7,489	13	38	79.6	79.9
32	群馬県	20,380	16,144	51	30	79.5	79.4
33	滋賀県	14,409	11,324	37	58	78.8	79.0
34	兵庫県	54,722	42,973	88	177	78.7	78.9
35	奈良県	14,560	11,424	11	27	78.5	78.6
36	福岡県	23,273	18,214	5	14	78.3	78.3
37	岡山県	19,244	15,000	57	111	78.2	78.5
38	高知県	7,236	5,570	6	12	77.1	77.1
39	沖縄県	17,801	13,619	0	0	76.5	76.5
40	北海道	52,451	39,633	130	174	75.8	75.9
41	大分県	11,881	8,859	38	88	74.9	75.3
42	広島県	27,851	20,373	48	71	73.3	73.4
43	埼玉県	68,699	50,062	100	317	73.0	73.3
44	千葉県	56,377	38,798	42	204	68.9	69.2
45	大阪府	80,376	54,444	301	221	68.1	68.0
46	東京都	97,551	60,428	133	283	62.1	62.2
47	神奈川県	79,220	46,275	156	399	58.6	58.9
	全国	1,213,204	932,262	1,629	2,948	77.0	77.1

表IV-2. 2009年度第4期麻疹ワクチン接種率の昨年度評価との比較

2009年度 最終評価① による順位	都道府県	第4期麻疹ワクチン接種率 (%)		昨年度との比較 (ポイント)
		2009年度 最終評価(%):①	2008年度 最終評価(%):②	①-② (ポイント)
1	山形県	91.7	91.9	-0.2
2	岩手県	91.3	89.8	1.5
3	福井県	90.2	91.1	-0.9
4	新潟県	89.9	89.7	0.2
5	島根県	89.7	88.8	0.9
6	佐賀県	89.1	90.0	-0.9
7	富山県	88.7	88.7	0.1
8	秋田県	88.6	86.3	2.3
9	石川県	87.4	86.6	0.8
10	長野県	86.2	86.5	-0.3
11	愛媛県	85.9	82.3	3.5
12	青森県	85.8	84.9	0.9
13	熊本県	85.3	84.2	1.2
14	鳥取県	84.8	86.4	-1.6
15	和歌山県	84.7	82.7	2.0
16	三重県	84.6	82.1	2.5
	静岡県	84.6	82.1	2.5
	長崎県	84.6	84.6	-0.1
19	栃木県	83.7	82.4	1.3
20	岐阜県	83.5	82.4	1.1
	徳島県	83.5	79.4	4.1
22	香川県	83.2	80.4	2.8
23	愛知県	83.0	81.2	1.8
24	山口県	82.5	83.4	-0.9
25	宮崎県	82.2	81.4	0.8
26	宮城県	82.1	80.2	2.0
27	茨城県	81.3	80.2	1.1
28	鹿児島県	81.1	83.4	-2.3
29	福島県	81.0	81.1	-0.1
30	京都府	79.9	79.5	0.4
31	山梨県	79.6	78.9	0.7
32	群馬県	79.5	82.8	-3.4
33	滋賀県	78.8	79.8	-1.0
34	兵庫県	78.7	78.8	-0.1
35	奈良県	78.5	79.2	-0.6
36	福岡県	78.3	72.9	5.4
37	岡山県	78.2	79.8	-1.6
38	高知県	77.1	78.4	-1.3
39	沖縄県	76.5	76.8	-0.3
40	北海道	75.8	79.9	-4.1
41	大分県	74.9	79.6	-4.7
42	広島県	73.3	74.1	-0.8
43	埼玉県	73.0	74.3	-1.2
44	千葉県	68.9	77.8	-9.0
45	大阪府	68.1	68.1	0.0
46	東京都	62.1	60.7	1.4
47	神奈川県	58.6	63.6	-5.0
	全国	77.0	77.3	-0.4

接種率、昨年度との比較は、小数点第二位以下を四捨五入

平成21年度 都道府県における  
麻疹対策取り組み状況評価  
チェックリスト集計結果

麻しん対策技術支援チーム



○調査目的

各自治体における麻しん対策の取組状況を調査し、現状を把握することにより、改善すべき点等を検討する。

○調査概要

平成21年度の各都道府県における「予防接種に関する取組状況」や「検査体制の状況」を調査

○調査対象 都道府県

○調査時期 平成22年6月





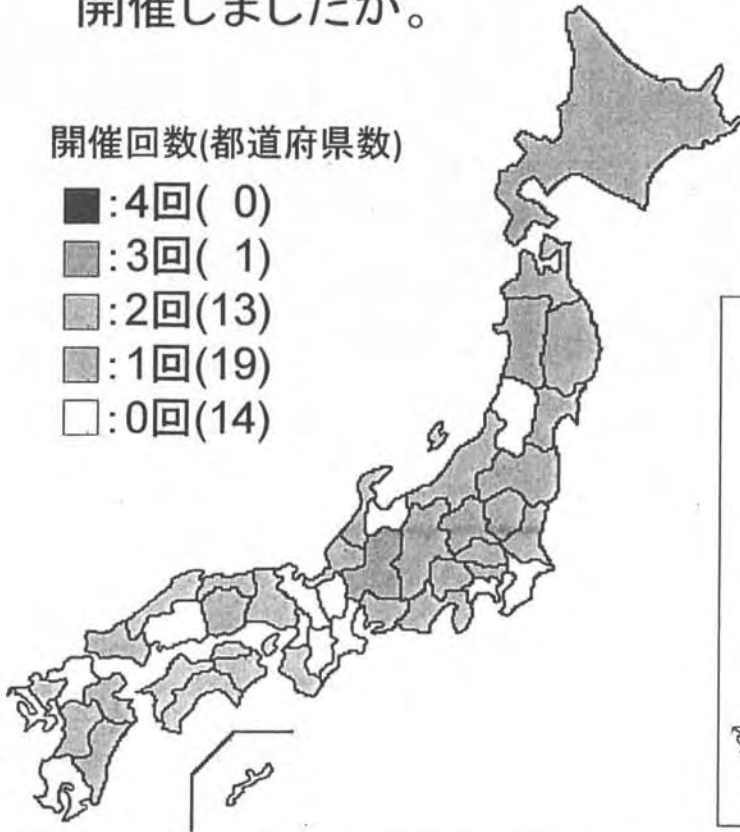
1.-① 平成21年度、都道府県レベルの「麻しん対策の会議」、あるいは同会議に準ずる組織の会議を何回開催しましたか。

開催回数(都道府県数)

- :4回( 0)
- :3回( 1)
- :2回(13)
- :1回(19)
- :0回(14)

平成21年度  
平均開催回数:  
1.0回(0-3回)

- 2年連続3回以上:岐阜県
- 2年連続0回:奈良県



平成20年度

平均開催回数:  
1.70回  
(0-4回)

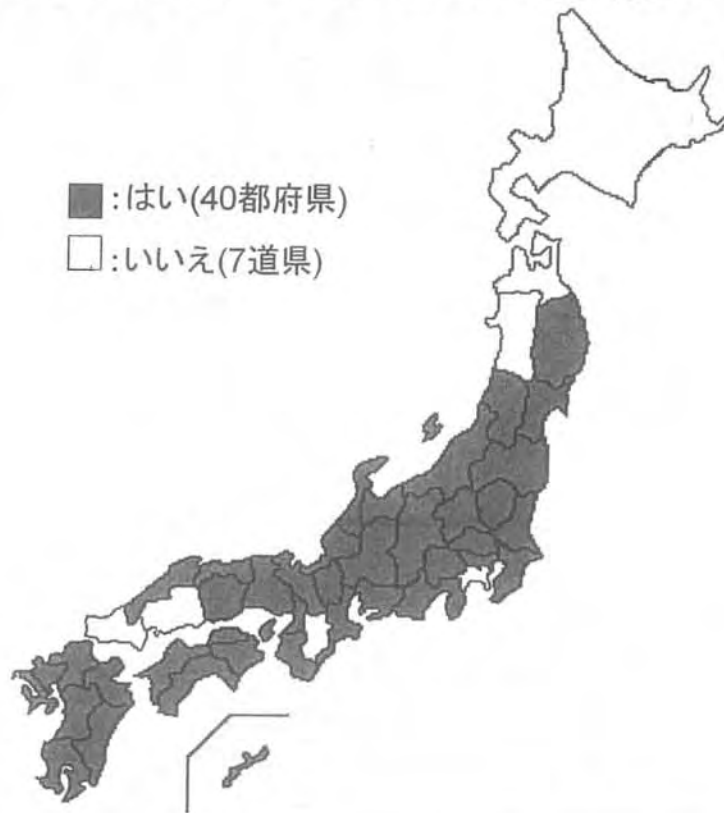


1.-② 貴都道府県では、都道府県として、麻しん対策が事業化されていますか。

- :はい(32都道府県)
- :いいえ(15県)



2.-① 貴都道府県内に所在する全ての市区町村特別区で、接種対象者への個別通知を実施していますか。



2.-② 個別通知を実施していない自治体名(15自治体)

道県名	自治体名
北海道(6町)	知内町, 羅臼町, 上富良野町, 礼文町, 美幌町, 新得町(第3期・第4期のみ個別通知)
青森県(1市1町)	五所川原市, 五戸町
秋田県(1市2町)	大仙市, 五城目町, 羽後町
神奈川県(1町)	中井町
奈良県(1市)	御所市
広島県(1市)	庄原市
山口県(1市)	岩国市



3.-① 貴都道府県内のすべての市町村特別区の中で第1期から第4期までの定期接種対象者の接種費用は、全額公費からの支出(被接種者の費用負担はなし)とされていますか。



3.-② 第1期から第4期までの定期接種対象者に費用負担がある自治体とその負担額

#	都道府県	自治体	被接種者の負担額(円)
1	北海道	砂川市※	第3期・第4期のみ 850円
2		江差町※	第4期のみ 300円
3	秋田県	井川町※	町実施の集団接種を自己都合で接種せず個別接種となった場合、6,500円
4	奈良県	高取町※	町実施の集団接種を自己都合で接種せず個別接種となった場合、第1期11,970円、第2期10,605円、第3期10,086円、第4期10,086円
5		野迫川村※	第4期のみ5,000円
6	福岡県	苅田町	県外医療機関及び、広域契約医療機関外で接種した場合のみ、6歳未満:接種費用のうち10,130円を超える額、6歳以上:接種費用のうち9,370円を超える額
7	熊本県	水俣市※	1,500円
8		大津町	委託医療機関以外で接種し、補助金上限額(11,500円)以上の費用がかかった場合

平成20年度11自治体より3自治体減少  
※:平成20年度調査と同結果



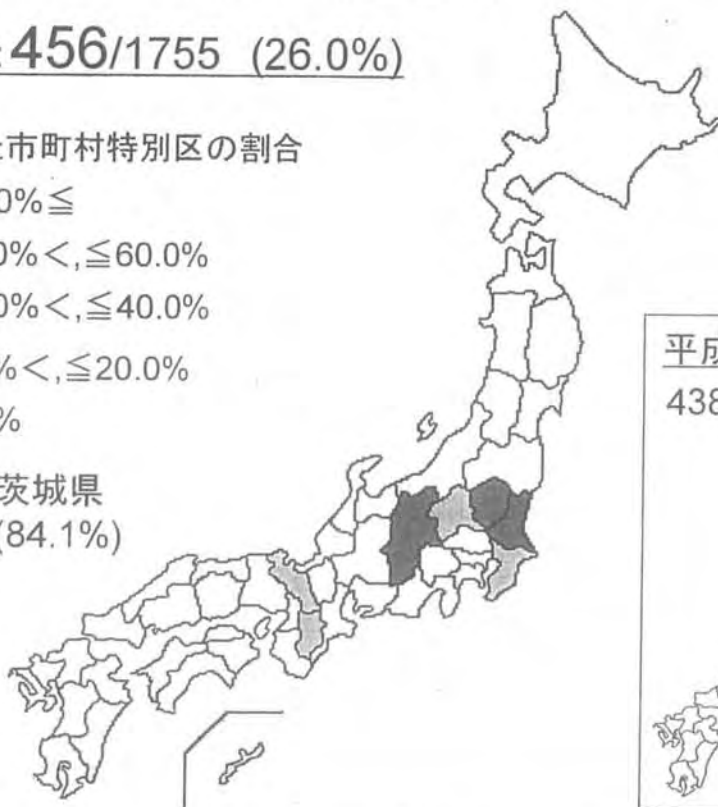
#### 4.-① 第3期で「集団の場」を用いた接種を行った 市区町村の数(割合)

第3期: **456/1755 (26.0%)**

実施した市町村特別区の割合

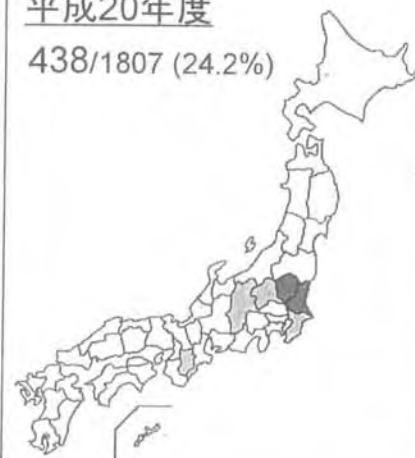
- 60.0% ≤
- 40.0% <, ≤ 60.0%
- 20.0% <, ≤ 40.0%
- 0.0% <, ≤ 20.0%
- 0.0%

最多: 茨城県  
37/44(84.1%)



平成20年度

438/1807 (24.2%)



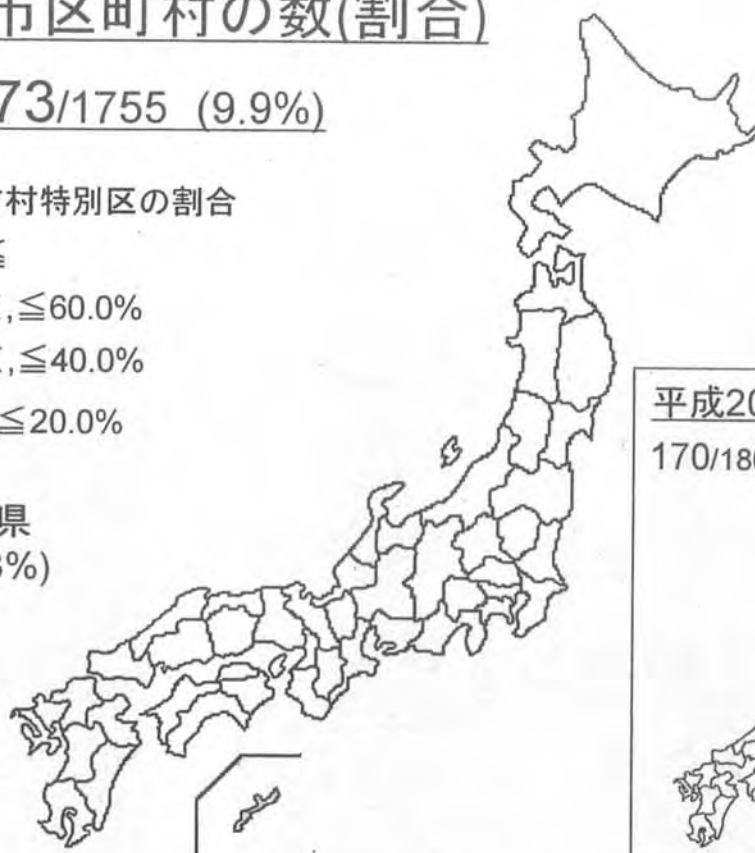
#### 4.-② 第4期で「集団の場」を用いた接種を行った 市区町村の数(割合)

第4期: **173/1755 (9.9%)**

実施した市町村特別区の割合

- 60.0% ≤
- 40.0% <, ≤ 60.0%
- 20.0% <, ≤ 40.0%
- 0.0% <, ≤ 20.0%
- 0.0%

最多: 沖縄県  
19/41(46.3%)



平成20年度

170/1807 (9.4%)



5.-① 貴都道府県は、全ての市区町村特別区における接種率(第1期、2期、3期、4期)を速やかに把握できていますか。



5.-② 貴都道府県は、所在する全ての学校における接種率(第2期、3期、4期)を速やかに把握できていますか。



6. 貴都道府県において、1例以上の麻疹確定症例が発生した場合、都道府県として迅速な対応をとっていますか。



7.-① 医療機関で採取された検体を、検査を実施する地方衛生研究所等に搬送する体制は構築されていますか。





7.-② 検査を実施する地方衛生研究所等では、迅速なRT-PCR法による診断が可能ですか。



7.-③ 集団発生が確認されず、他の麻疹患者との接触歴が確認されない散发例に対して、地方衛生研究所等におけるRT-PCR法による検査診断を実施していますか。





## 厚生労働省の取組について

- 1 麻しんに関する特定感染症予防指針（厚生労働省告示第445号）の策定
- 2 予防接種法施行令の一部を改正し、第3期及び第4期の予防接種を追加
- 3 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則を一部改正し、麻しんを全数把握対象疾病に位置づけ
- 4 各種ガイドラインの策定
  - (1) 学校における麻しん対策ガイドライン（平成20年3月）
  - (2) 都道府県における麻しん対策ガイドライン（平成20年3月）
  - (3) 医療機関での麻しん対応ガイドライン（平成20年1月）
  - (4) 麻しん排除に向けた積極的疫学調査ガイドライン（平成20年1月）
  - (5) 医師における麻しん届出ガイドライン（平成20年1月）
- 5 接種の促進に関する通知
  - (1) 個人通知の徹底、学校機関等との連携の強化、未接種者及び既罹患者の確認調査を行った上での積極的な勧奨（平成20年6月27日付け）
  - (2) 平成20年4月～6月予防接種の実施状況調査の結果に基づく接種の勧奨（平成20年9月8日付け）
  - (3) 平成20年4月～9月予防接種の実施状況調査の結果に基づく接種の勧奨（平成21年2月4日付け）
  - (4) 夏休み期間を活用した接種の勧奨（平成21年7月15日付け）
  - (5) 平成21年4月～12月予防接種の実施状況調査の結果に基づく接種の勧奨（平成22年3月8日付け）
  - (6) 夏休み期間を活用した接種の勧奨（平成22年7月9日付け）
  - (7) 平成21年度予防接種の実施状況調査の結果に基づく接種の勧奨（平成22年9月10日付け）
- 6 麻しんによる各学校の休校等の状況を調査
  - (1) 麻しん施設別発生状況に係る調査について（平成21年3月6日付け事務連絡）
  - (2) 麻しん施設別発生状況に係る調査について（平成22年3月17日付け事務連絡）

各都道府県衛生主管部(局)長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長



### 麻疹風しんの第3期・第4期予防接種の促進について

予防接種行政につきましては、日頃よりご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の予防接種につきましては、平成22年度の接種対象者が以下の者となることから(第3期:平成9年4月2日~平成10年4月1日に生まれた者、第4期:平成4年4月2日~平成5年4月1日に生まれた者)、あらためて、当該対象者への情報提供や接種勧奨による接種の促進が必要となっているところです。

当該対象者の大部分が学生・生徒であり、今後、夏季における休業に入ることが見込まれ、授業が実施されている時期と比べ、接種を受けやすくなりますので、この機会を利用して、未だ接種を受けていない者が接種を完了できるよう、市区町村に対して、積極的な接種勧奨を関係機関と協力の上、実施するよう指導方よろしくお願いいたします。

また、市区町村に対し、「都道府県における麻疹対策会議のガイドライン」に基づき、麻疹風しんの第3期及び第4期に当たる者のうち、未接種及び未罹患の者の状況を把握したうえで、その者に対する接種の勧奨を実施するとともに、「麻疹対策の会議」への協力が推進されるよう、周知徹底方よろしくお願いいたします。

なお、関係機関における取り組みに資するよう、自治体における接種勧奨の取組事例等について、国立感染症研究所感染症情報センターの下記ホームページに掲載しておりますので、併せて周知いただきますようお願いいたします。

#### 記

厚生労働省ホームページ

都道府県における麻疹対策会議のガイドライン

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou21/dl/080328a.pdf>

学校における麻疹対策ガイドライン

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou21/dl/080410a.pdf>

国立感染症研究所感染症情報センターホームページ

自治体における接種勧奨の取組事例

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/05.html>

接種促進のための教育啓発ツール

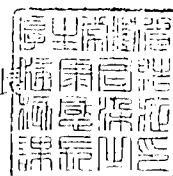
<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/02.html>



健感発0910第2号  
平成22年9月10日

各都道府県衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長



麻しん風しんの第3期・第4期の予防接種の促進について（依頼）

標記の予防接種については、平成24年までに麻しん排除に向けた経過措置として、中学1年生と高校3年生に相当する年齢の者に対して、平成20年度から5年間を麻しんの排除のための対象期間として時限的に実施しているところであり、各都道府県衛生主管部局におかれては、貴管内市区町村に対し、積極的に接種の勧奨を行うよう指導していただいていることと存じます。

さて、本年8月6日付で公表した別添の「平成21年度定期の予防接種（麻しん風しん第1期～第4期）の実施状況の調査結果」によると、全国平均の接種率は、第3期が85.9%、第4期が77.0%であり、このまま推移すれば、麻しん排除の目標であるところの接種対象者の接種率95%の達成が危惧される状況であります。

については、このような状況を改善するための対策を早急に講じる必要があることから、「麻しん対策会議」等を開催し、学校機関に対して本年9月末時点での接種状況の確認、未接種未罹患の者に対して積極的な勧奨を行うよう協力の要請、また、市区町村に対して、再度の個別通知の徹底及び電話による積極的勧奨等の実施について、ご指導方よろしくお願い申し上げます。

なお、保護者に対しては、予防接種に関する十分な普及啓発を行うなど、子どもたちが予防接種を受けやすい環境を整備し、麻しん風しんの第3期・第4期の接種対象者のうち、未接種未罹患の者については、早期のうちに接種が実施されるよう、さらなる接種の促進につき、ご協力方お願い申し上げます。

（参考資料）

- 1 2009年度麻しん風しんワクチン接種率
- 2 学校における麻しん対策ガイドライン（抜粋：積極的勧奨のスケジュール）

## 総合表：都道府県別麻疹ワクチン接種率 2009年度最終評価 接種対象群別結果一覧

2009年4月1日～2010年3月31日分

各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

#	都道府県	第1期	第2期	第3期	第4期
1	北海道	96.2	92.4	78.9	75.8
2	青森県	87.2	93.4	92.1	85.8
3	岩手県	96.1	94.4	90.7	91.3
4	宮城県	94.0	94.0	90.5	82.1
5	秋田県	94.2	97.1	94.2	88.6
6	山形県	93.9	95.4	94.2	91.7
7	福島県	91.5	92.9	88.8	81.0
8	茨城県	90.4	95.0	97.0	81.3
9	栃木県	92.8	93.1	94.3	83.7
10	群馬県	94.4	94.1	92.3	79.5
11	埼玉県	94.7	93.8	84.8	73.0
12	千葉県	94.1	92.8	86.0	68.9
13	東京都	93.2	89.8	81.2	62.1
14	神奈川県	94.2	89.7	76.0	58.6
15	新潟県	95.8	96.3	93.0	89.9
16	富山県	96.7	96.0	96.2	88.7
17	石川県	94.7	94.9	91.9	87.4
18	福井県	93.6	95.6	94.8	90.2
19	山梨県	90.7	92.3	83.4	79.6
20	長野県	91.2	92.2	92.3	86.2
21	岐阜県	94.1	92.6	90.1	83.5
22	静岡県	92.6	91.7	89.7	84.6
23	愛知県	94.8	93.4	85.9	83.0
24	三重県	95.2	93.5	86.7	84.6
25	滋賀県	94.7	91.7	85.9	78.8
26	京都府	96.5	94.2	93.5	79.9
27	大阪府	93.7	88.9	79.9	68.1
28	兵庫県	93.2	92.5	86.1	78.7
29	奈良県	89.8	92.0	83.8	78.5
30	和歌山県	93.5	94.7	92.7	84.7
31	鳥取県	95.6	94.1	90.6	84.8
32	島根県	95.2	95.3	93.0	89.7
33	岡山県	95.0	94.6	88.3	78.2
34	広島県	93.2	91.4	84.2	73.3
35	山口県	92.4	92.4	86.4	82.5
36	徳島県	94.1	94.1	87.4	83.5
37	香川県	93.4	94.2	88.5	83.2
38	愛媛県	92.0	95.0	90.0	85.9
39	高知県	91.9	88.4	80.2	77.1
40	福岡県	89.7	91.8	80.0	78.3
41	佐賀県	91.4	93.1	92.0	89.1
42	長崎県	91.3	91.9	88.6	84.6
43	熊本県	93.1	93.1	89.3	85.3
44	大分県	93.6	93.2	87.4	74.9
45	宮崎県	93.6	91.6	88.5	82.2
46	鹿児島県	91.8	87.8	79.4	81.1
47	沖縄県	91.5	88.6	84.4	76.5
	全国	93.6	92.3	85.9	77.0

表 I-1. 2009年度 第1期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2010年3月31日現在、最終評価

2009年度  
第1期

順位は、麻しんワクチン接種率⑤に基づく  
 接種対象者数①は、2009年10月1日現在の1歳児の数  
 ②、③、④は2009年度における接種者の数  
 MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン  
 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

順位	都道府県	麻しん風しん ワクチン接種 対象者数(人):①	MRワクチン 接種者数(人):②	麻しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):③	風しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):④	麻しんワクチン 接種率(%) :⑤=(②+③)/①× 100	風しんワクチン 接種率(%) :⑥=(②+④)/①× 100
1	富山県	8,705	8,418	2	1	96.7	96.7
2	京都府	21,655	20,890	13	5	96.5	96.5
3	北海道	40,577	39,005	11	9	96.2	96.1
4	岩手県	10,000	9,609	0	1	96.1	96.1
5	新潟県	18,620	17,843	4	3	95.8	95.8
6	鳥取県	4,987	4,769	1	0	95.6	95.6
7	三重県	15,944	15,185	1	0	95.2	95.2
	島根県	5,775	5,494	1	0	95.2	95.1
9	岡山県	17,033	16,180	8	15	95.0	95.1
10	愛知県	72,198	68,397	30	15	94.8	94.8
	埼玉県	62,226	58,924	11	18	94.7	94.7
11	石川県	10,302	9,755	0	0	94.7	94.7
	滋賀県	13,822	13,081	2	1	94.7	94.6
14	群馬県	17,498	16,506	14	0	94.4	94.3
15	秋田県	7,543	7,108	1	0	94.2	94.2
	神奈川県	80,816	76,117	39	36	94.2	94.2
	千葉県	53,684	50,530	6	13	94.1	94.1
17	岐阜県	18,389	17,296	4	4	94.1	94.1
	徳島県	5,989	5,633	0	0	94.1	94.1
20	宮城県	20,133	18,917	0	3	94.0	94.0
21	山形県	9,187	8,625	1	0	93.9	93.9
22	大阪府	77,038	72,166	36	24	93.7	93.7
	福井県	7,392	6,916	1	0	93.6	93.6
23	宮崎県	10,062	9,415	0	0	93.6	93.6
	大分県	10,266	9,600	4	1	93.6	93.5
26	和歌山県	7,942	7,423	1	0	93.5	93.5
27	香川県	8,680	8,106	1	0	93.4	93.4
	兵庫県	50,104	46,691	4	5	93.2	93.2
28	広島県	25,722	23,962	2	4	93.2	93.2
	東京都	107,177	99,799	51	41	93.2	93.2
31	熊本県	16,237	15,118	6	1	93.1	93.1
32	栃木県	17,484	16,231	2	1	92.8	92.8
33	静岡県	33,924	31,406	3	9	92.6	92.6
34	山口県	11,816	10,918	4	0	92.4	92.4
35	愛媛県	23,610	21,714	2	2	92.0	92.0
36	高知県	5,772	5,306	0	1	91.9	91.9
37	鹿児島県	15,419	14,157	2	1	91.8	91.8
38	沖縄県	17,169	15,711	0	0	91.5	91.5
	福島県	16,918	15,472	3	0	91.5	91.5
40	佐賀県	7,999	7,309	2	3	91.4	91.4
41	長崎県	12,127	11,073	0	2	91.3	91.3
42	長野県	18,372	16,754	6	3	91.2	91.2
43	山梨県	7,159	6,494	0	2	90.7	90.7
44	茨城県	25,302	22,883	2	11	90.4	90.5
45	奈良県	11,437	10,272	2	3	89.8	89.8
46	福岡県	20,444	18,333	3	3	89.7	89.7
47	青森県	10,694	9,318	4	0	87.2	87.1
	全国	1,091,349	1,020,829	290	241	93.6	93.6

表 I-2. 2009年度第1期麻疹ワクチン接種率 昨年度との比較

2009年度 最終評価① による順位	都道府県	第1期麻疹ワクチン接種率 (%)		昨年度との比較 (ポイント)
		2009年度 最終評価(%):①	2008年度 最終評価(%):②	①-② (ポイント)
1	富山県	96.7	93.4	3.4
2	京都府	96.5	94.7	1.8
3	北海道	96.2	95.2	0.9
4	岩手県	96.1	95.5	0.6
5	新潟県	95.8	96.4	-0.5
6	鳥取県	95.6	95.2	0.5
7	三重県	95.2	98.5	-3.3
	島根県	95.2	93.6	1.6
9	岡山県	95.0	94.8	0.2
10	愛知県	94.8	95.8	-1.0
11	埼玉県	94.7	93.2	1.5
	石川県	94.7	93.9	0.8
	滋賀県	94.7	89.1	5.5
14	群馬県	94.4	93.9	0.5
15	秋田県	94.2	88.2	6.1
	神奈川県	94.2	93.6	0.6
17	千葉県	94.1	94.9	-0.7
	岐阜県	94.1	97.0	-2.9
	徳島県	94.1	96.1	-2.1
20	宮城県	94.0	96.6	-2.6
21	山形県	93.9	91.2	2.7
22	大阪府	93.7	94.1	-0.4
23	福井県	93.6	97.0	-3.4
	宮崎県	93.6	95.2	-1.6
	大分県	93.6	93.4	0.1
26	和歌山県	93.5	93.0	0.4
27	香川県	93.4	92.9	0.4
28	兵庫県	93.2	94.0	-0.8
	広島県	93.2	92.3	0.8
	東京都	93.2	95.7	-2.6
31	熊本県	93.1	90.7	2.5
32	栃木県	92.8	93.7	-0.9
33	静岡県	92.6	94.1	-1.5
34	山口県	92.4	96.7	-4.3
35	愛媛県	92.0	95.1	-3.2
36	高知県	91.9	93.4	-1.5
37	鹿児島県	91.8	93.5	-1.6
38	沖縄県	91.5	97.9	-6.4
	福島県	91.5	92.8	-1.3
40	佐賀県	91.4	96.6	-5.2
41	長崎県	91.3	92.0	-0.7
42	長野県	91.2	93.8	-2.6
43	山梨県	90.7	93.8	-3.1
44	茨城県	90.4	91.7	-1.3
45	奈良県	89.8	92.5	-2.7
46	福岡県	89.7	92.5	-2.8
47	青森県	87.2	94.3	-7.1
	全国	93.6	94.3	-0.7

接種率、昨年度との比較は、小数点第二位以下を四捨五入

表Ⅲ-1. 2009年度 第3期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2010年3月31日現在、最終評価

順位は、麻しんワクチン接種率⑤に基づく  
MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン  
各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

2009年度  
第3期

順位	都道府県	麻しん風しん ワクチン接種 対象者数(人):①	MRワクチン 接種者数(人):②	麻しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):③	風しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):④	麻しんワクチン 接種率(%) :⑤=(②+③)/①× 100	風しんワクチン 接種率(%) :⑥=(②+④)/①× 100
1	茨城県	29,081	28,203	3	12	97.0	97.0
2	富山県	10,446	10,050	1	4	96.2	96.2
3	福井県	8,348	7,916	1	3	94.8	94.9
4	栃木県	19,215	18,126	0	4	94.3	94.4
5	秋田県	9,862	9,290	1	10	94.2	94.3
	山形県	11,476	10,807	0	2	94.2	94.2
7	京都府	23,886	22,327	12	16	93.5	93.5
8	新潟県	23,044	21,435	1	14	93.0	93.1
	島根県	6,835	6,356	0	1	93.0	93.0
10	和歌山県	10,085	9,347	2	6	92.7	92.7
11	群馬県	20,596	19,002	15	14	92.3	92.3
	長野県	21,420	19,759	6	8	92.3	92.3
13	青森県	13,968	12,865	2	6	92.1	92.1
14	佐賀県	9,040	8,319	0	2	92.0	92.0
15	石川県	11,409	10,482	1	2	91.9	91.9
16	岩手県	12,815	11,619	2	3	90.7	90.7
17	鳥取県	5,737	5,195	2	0	90.6	90.6
18	宮城県	22,143	20,027	2	10	90.5	90.5
19	岐阜県	21,474	19,339	4	19	90.1	90.1
20	愛媛県	27,692	24,908	16	14	90.0	90.0
21	静岡県	36,567	32,789	9	13	89.7	89.7
22	熊本県	18,224	16,264	4	10	89.3	89.3
23	福島県	20,994	18,633	2	8	88.8	88.8
24	長崎県	14,799	13,103	4	5	88.6	88.6
25	宮崎県	11,496	10,175	4	1	88.5	88.5
	香川県	9,433	8,344	1	9	88.5	88.6
27	岡山県	19,259	16,994	18	24	88.3	88.4
28	徳島県	7,325	6,403	2	3	87.4	87.5
	大分県	11,391	9,952	3	13	87.4	87.5
30	三重県	18,464	16,010	3	5	86.7	86.7
31	山口県	13,496	11,644	11	7	86.4	86.3
32	兵庫県	54,236	46,674	22	30	86.1	86.1
33	千葉県	56,458	48,554	11	77	86.0	86.1
34	愛知県	73,013	62,719	15	41	85.9	86.0
	滋賀県	14,442	12,391	8	16	85.9	85.9
36	埼玉県	68,808	58,337	19	58	84.8	84.9
37	沖縄県	17,476	14,750	0	0	84.4	84.4
38	広島県	27,553	23,173	22	11	84.2	84.1
39	奈良県	13,787	11,550	0	11	83.8	83.9
40	山梨県	8,970	7,482	1	8	83.4	83.5
41	東京都	100,228	81,336	28	101	81.2	81.3
42	高知県	7,131	5,720	2	3	80.2	80.3
43	福岡県	22,416	17,926	1	8	80.0	80.0
44	大阪府	84,006	66,971	141	114	79.9	79.9
45	鹿児島県	17,092	13,565	4	17	79.4	79.5
46	北海道	48,789	38,466	25	21	78.9	78.9
47	神奈川県	80,453	61,119	45	111	76.0	76.1
	全国	1,194,878	1,026,416	476	875	85.9	86.0



表Ⅲ-2. 2009年度第3期麻疹ワクチン接種率の昨年度評価との比較

2009年度 最終評価① による順位	都道府県	第3期麻疹ワクチン接種率 (%)		昨年度との比較 (ポイント)
		2009年度 最終評価(%):①	2008年度 最終評価(%):②	①-② (ポイント)
1	茨城県	97.0	95.1	1.9
2	富山県	96.2	95.3	0.9
3	福井県	94.8	95.5	-0.7
4	栃木県	94.3	92.7	1.6
5	秋田県	94.2	94.9	-0.7
	山形県	94.2	93.7	0.5
7	京都府	93.5	87.3	6.3
8	新潟県	93.0	94.2	-1.2
	島根県	93.0	91.7	1.3
10	和歌山県	92.7	90.6	2.1
11	群馬県	92.3	90.8	1.6
	長野県	92.3	93.6	-1.4
13	青森県	92.1	91.1	1.0
14	佐賀県	92.0	92.3	-0.2
15	石川県	91.9	92.5	-0.6
16	岩手県	90.7	89.3	1.4
17	鳥取県	90.6	92.0	-1.4
18	宮城県	90.5	88.9	1.5
19	岐阜県	90.1	88.3	1.8
20	愛媛県	90.0	90.6	-0.6
21	静岡県	89.7	89.4	0.3
22	熊本県	89.3	91.7	-2.4
23	福島県	88.8	86.9	1.8
24	長崎県	88.6	89.9	-1.4
25	宮崎県	88.5	88.4	0.1
	香川県	88.5	90.8	-2.3
27	岡山県	88.3	89.3	-1.0
28	徳島県	87.4	90.0	-2.5
	大分県	87.4	85.7	1.7
30	三重県	86.7	86.0	0.7
31	山口県	86.4	88.9	-2.5
32	兵庫県	86.1	85.0	1.1
33	千葉県	86.0	90.1	-4.0
34	愛知県	85.9	84.2	1.7
	滋賀県	85.9	85.4	0.5
36	埼玉県	84.8	86.1	-1.2
37	沖縄県	84.4	84.3	0.1
38	広島県	84.2	81.0	3.2
39	奈良県	83.8	84.5	-0.7
40	山梨県	83.4	85.8	-2.4
41	東京都	81.2	75.8	5.4
42	高知県	80.2	82.3	-2.1
43	福岡県	80.0	75.7	4.2
44	大阪府	79.9	77.2	2.7
45	鹿児島県	79.4	83.1	-3.7
46	北海道	78.9	82.0	-3.1
47	神奈川県	76.0	77.8	-1.8
	全国	85.9	85.1	0.8

接種率、昨年度との比較は、小数点第二位以下を四捨五入

表IV-1. 2009年度 第4期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2010年3月31日現在、最終評価

順位は、麻しんワクチン接種率⑤に基づく  
 MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン  
 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

2009年度  
 第4期

順位	都道府県	麻しん風しん ワクチン接種 対象者数(人):①	MRワクチン 接種者数(人):②	麻しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):③	風しん単抗原 ワクチン接種者数 (人):④	麻しんワクチン 接種率(%) :⑤=(②+③)/①× 100	風しんワクチン 接種率(%) :⑥=(②+④)/①× 100
1	山形県	12,645	11,590	4	11	91.7	91.7
2	岩手県	14,365	13,107	7	2	91.3	91.3
3	福井県	8,487	7,649	7	9	90.2	90.2
4	新潟県	24,591	22,107	9	14	89.9	90.0
5	島根県	7,603	6,812	5	11	89.7	89.7
6	佐賀県	9,731	8,660	8	6	89.1	89.1
7	富山県	10,354	9,181	6	18	88.7	88.8
8	秋田県	10,795	9,563	6	38	88.6	88.9
9	石川県	11,484	10,026	6	15	87.4	87.4
10	長野県	21,281	18,324	28	77	86.2	86.5
11	愛媛県	28,952	24,804	54	78	85.9	85.9
12	青森県	15,180	13,017	11	11	85.8	85.8
13	熊本県	19,431	16,566	14	13	85.3	85.3
14	鳥取県	6,212	5,264	6	3	84.8	84.8
15	和歌山県	10,505	8,889	7	11	84.7	84.7
16	三重県	18,808	15,910	7	9	84.6	84.6
	静岡県	37,686	31,847	30	62	84.6	84.7
	長崎県	16,166	13,653	16	13	84.6	84.5
19	栃木県	20,271	16,958	11	14	83.7	83.7
20	岐阜県	21,301	17,781	7	30	83.5	83.6
	徳島県	7,776	6,487	5	3	83.5	83.5
22	香川県	9,426	7,834	6	13	83.2	83.2
23	愛知県	69,578	57,712	34	73	83.0	83.1
24	山口県	14,220	11,711	14	15	82.5	82.5
25	宮崎県	11,920	9,775	23	19	82.2	82.2
26	宮城県	23,549	19,339	6	20	82.1	82.2
27	茨城県	30,432	24,742	11	50	81.3	81.5
28	鹿児島県	18,792	15,232	5	21	81.1	81.2
29	福島県	23,107	18,696	10	19	81.0	81.0
30	京都府	23,100	18,397	50	46	79.9	79.8
31	山梨県	9,425	7,489	13	38	79.6	79.9
32	群馬県	20,380	16,144	51	30	79.5	79.4
33	滋賀県	14,409	11,324	37	58	78.8	79.0
34	兵庫県	54,722	42,973	88	177	78.7	78.9
35	奈良県	14,560	11,424	11	27	78.5	78.6
36	福岡県	23,273	18,214	5	14	78.3	78.3
37	岡山県	19,244	15,000	57	111	78.2	78.5
38	高知県	7,236	5,570	6	12	77.1	77.1
39	沖縄県	17,801	13,619	0	0	76.5	76.5
40	北海道	52,451	39,633	130	174	75.8	75.9
41	大分県	11,881	8,859	38	88	74.9	75.3
42	広島県	27,851	20,373	48	71	73.3	73.4
43	埼玉県	68,699	50,062	100	317	73.0	73.3
44	千葉県	56,377	38,798	42	204	68.9	69.2
45	大阪府	80,376	54,444	301	221	68.1	68.0
46	東京都	97,551	60,428	133	283	62.1	62.2
47	神奈川県	79,220	46,275	156	399	58.6	58.9
	全国	1,213,204	932,262	1,629	2,948	77.0	77.1

表IV-2. 2009年度第4期麻疹ワクチン接種率の昨年度評価との比較

2009年度 最終評価① による順位	都道府県	第4期麻疹ワクチン接種率 (%)		昨年度との比較 (ポイント)
		2009年度 最終評価(%):①	2008年度 最終評価(%):②	①-② (ポイント)
1	山形県	91.7	91.9	-0.2
2	岩手県	91.3	89.8	1.5
3	福井県	90.2	91.1	-0.9
4	新潟県	89.9	89.7	0.2
5	島根県	89.7	88.8	0.9
6	佐賀県	89.1	90.0	-0.9
7	富山県	88.7	88.7	0.1
8	秋田県	88.6	86.3	2.3
9	石川県	87.4	86.6	0.8
10	長野県	86.2	86.5	-0.3
11	愛媛県	85.9	82.3	3.5
12	青森県	85.8	84.9	0.9
13	熊本県	85.3	84.2	1.2
14	鳥取県	84.8	86.4	-1.6
15	和歌山県	84.7	82.7	2.0
16	三重県	84.6	82.1	2.5
	静岡県	84.6	82.1	2.5
	長崎県	84.6	84.6	-0.1
19	栃木県	83.7	82.4	1.3
20	岐阜県	83.5	82.4	1.1
	徳島県	83.5	79.4	4.1
22	香川県	83.2	80.4	2.8
23	愛知県	83.0	81.2	1.8
24	山口県	82.5	83.4	-0.9
25	宮崎県	82.2	81.4	0.8
26	宮城県	82.1	80.2	2.0
27	茨城県	81.3	80.2	1.1
28	鹿児島県	81.1	83.4	-2.3
29	福島県	81.0	81.1	-0.1
30	京都府	79.9	79.5	0.4
31	山梨県	79.6	78.9	0.7
32	群馬県	79.5	82.8	-3.4
33	滋賀県	78.8	79.8	-1.0
34	兵庫県	78.7	78.8	-0.1
35	奈良県	78.5	79.2	-0.6
36	福岡県	78.3	72.9	5.4
37	岡山県	78.2	79.8	-1.6
38	高知県	77.1	78.4	-1.3
39	沖縄県	76.5	76.8	-0.3
40	北海道	75.8	79.9	-4.1
41	大分県	74.9	79.6	-4.7
42	広島県	73.3	74.1	-0.8
43	埼玉県	73.0	74.3	-1.2
44	千葉県	68.9	77.8	-9.0
45	大阪府	68.1	68.1	0.0
46	東京都	62.1	60.7	1.4
47	神奈川県	58.6	63.6	-5.0
	全国	77.0	77.3	-0.4

接種率、昨年度との比較は、小数点第二位以下を四捨五入

定期予防接種の年度別対象者

	中学1年生に相当する年齢の者	高校3年生に相当する年齢の者
平成20年度	平成7年4月2日～平成8年4月1日生まれ	平成2年4月2日～平成3年4月1日生まれ
平成21年度	平成8年4月2日～平成9年4月1日生まれ	平成3年4月2日～平成4年4月1日生まれ
平成22年度	平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれ	平成4年4月2日～平成5年4月1日生まれ
平成23年度	平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれ	平成5年4月2日～平成6年4月1日生まれ
平成24年度	平成11年4月2日～平成12年4月1日生まれ	平成6年4月2日～平成7年4月1日生まれ

従来から就学时健康診断において行われている麻しん罹患歴及び第1期と第2期の予防接種歴の確認及び接種していない場合の第2期定期接種の指導に加え、学校での麻しん発生及び流行を予防するため、平成20年4月以降は学校と設置者が連携して第3期と第4期に該当する生徒に対して予防接種の積極的勧奨を行うことが求められる。文部科学省、厚生労働省では、各学校で積極的勧奨に用いる資料として、平成20年4月に次のリーフレットを配布している。



また、予防接種の実施は市町村の保健部局の業務であるが、在籍する児童生徒が予防接種を受けやすい環境作りとして、学校の場を保健部局に提供し、接種を行うことも考えられる。この場合、予防接種は「定期の予防接種実施要領」(巻末抜粋)に従い、保健部局の責任において行われるが、学校も接種時間の調整、会場の設営、保護者への説明の協力などが求められる。設置者ととも、実施責任主体である保健部局との連携・協力を進めることが望ましい。

**積極的勧奨のスケジュール**

**【中学1年生に対する積極的勧奨】**

中学1年生については、その保護者を勧奨の最終的な対象とする。

- ①接種不相当者に該当する場合を除いた全員\*を積極的勧奨の対象とし、年度末には接種不相当等の理由がある場合を除いて、全員が接種を受けていることを目標とする。
- ②可能な限り4～6月中に予防接種を受けるよう勧奨する。(重点的に接種を勧める期間)
- ③夏期休暇までに予防接種を受けたかどうかの確認を行い、接種不相当等の理由がない場合には、夏期休暇中に受けておくよう再度の勧奨を行う。
- ④③で勧奨を行った者および③の確認以降に転入した児童生徒に対しては、9月末に予防接種を受けたかどうかを再度確認し、接種不相当等の理由がない場合には、再々度の勧奨を行う。
- ⑤④で勧奨を行った者および9月末の確認以降に転入した生徒に対しては、翌年2月末に予防接種を受けたかどうかを再々度確認し、接種不相当等の理由がない場合には、3月末までに予防接種を受けるよう最後の勧奨を行う。

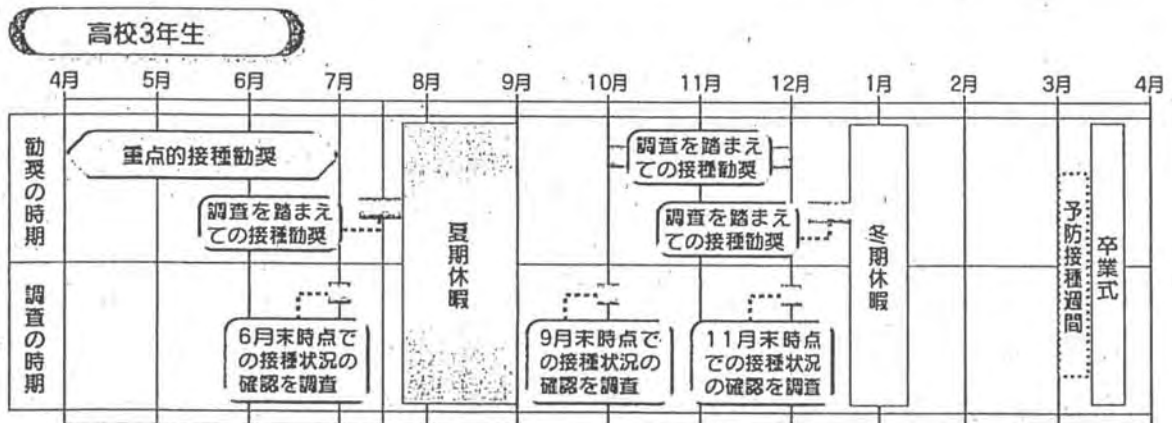
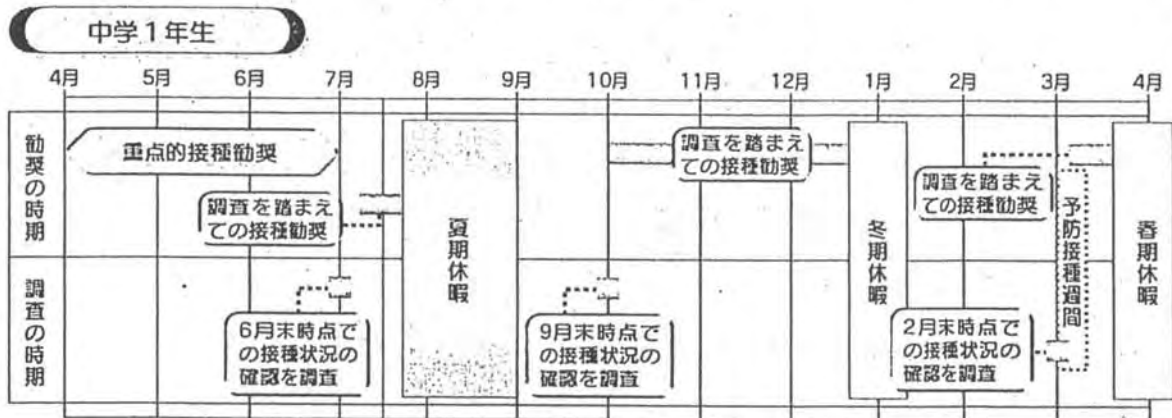
**【高校3年生に対する積極的勧奨】**

高校3年生については、生徒本人に予防接種の意味を理解させるとともに、本人及びその保護者を勧奨の対象とする。

- ①接種不相当者に該当する場合を除いた全員\*を積極的勧奨の対象とし、年度末には接種不相当等の理由がある場合を除いて、全員が接種を受けていることを目標とする。
- ②可能な限り4～6月中に予防接種を受けるよう勧奨する。(重点的に接種を勧める期間)
- ③夏期休暇までに予防接種を受けたかどうかの確認を行い、接種不相当等の理由がない場合には、夏期休暇中に受けておくよう再度の勧奨を行う。
- ④③で勧奨を行った者および③の確認以降に転入した生徒に対しては、9月末に予防接種を受けたかどうかを再度確認し、接種不相当等の理由がない場合には、再々度の勧奨を行う。
- ⑤④で勧奨を行った者および③の確認以降に転入した生徒に対しては、11月末に予防接種を受けたかどうかを再々度確認し、接種不相当等の理由がない場合には、3度目の勧奨を行う。

\*これまでに麻しんおよび風しんの両方に罹ったことが確実な者あるいは、これまでに麻しんおよび風しんに対する予防接種をそれぞれ2回受けていることが記録に基づいて確認できる者については積極的勧奨の対象ではないが、具体的な予防接種の接種年月日又は罹患年齢などを含めた確実な情報を記憶に頼らず母子健康手帳などを見て確認してもらうことが望ましい。不確実な場合は、積極的勧奨の対象とする。

**積極的勧奨のスケジュール**



22ス学健第12号  
平成22年7月13日

附属学校を置く各国立大学法人事務局長  
各国公立高等専門学校事務局長  
各都道府県教育委員会学校保健主管課長 殿  
各指定都市教育委員会学校保健主管課長  
各都道府県私立学校主管課長

文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課長  
松川 憲



(印影印刷)

### 麻しん風しんの第3期・第4期予防接種の促進について（依頼）

標記について、別添1のとおり平成22年7月9日付け健感発0709第3号により厚生労働省健康局結核感染症課長から協力依頼がありました。

また、別添2のとおり同課長から各都道府県衛生主管部（局）長あてに「麻しん風しんの第3期・第4期予防接種の促進について」が発出されています。

学校の設置者及び学校においては、従来から「学校における麻しん対策ガイドライン」（平成20年3月 国立感染症研究所感染情報センター作成 文部科学省・厚生労働省監修）の活用をお願いしているところですが、地域の保健部局等と連携の上、麻しん風しんの第3期・第4期予防接種未接種・未罹患の者の状況を把握した上で、その者に対して、夏季休業中の接種の勧奨を行うなど、早期の接種が促進されるよう適切な対応をお願いします。

また、都道府県の麻しん対策会議等による接種状況の確認調査が実施される際には、御協力をお願いします。

なお、これらのことについて、都道府県教育委員会においては域内の市区町村教育委員会に対して、都道府県私立学校主管課においては所管の私立学校等（専修学校・各種学校を含む）に対して周知していただくとともに、適切な対応がなされるよう御指導についても併せてお願いします。

(参考ホームページ)

○文部科学省ホームページ

「学校における麻疹対策ガイドラインについて」

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kenko/hoken/08040804.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/08040804.htm)

○厚生労働省ホームページ

「都道府県における麻疹対策会議のガイドライン」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou21/dl/080328a.pdf>

○国立感染症研究所感染症情報センターホームページ

「自治体における接種勧奨の取組事例」

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/05.html>

「接種促進のための教育啓発ツール」

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/02.html>

本件担当

文部科学省スポーツ・青少年局

学校健康教育課 保健指導係

電話 03-6734-2918 (直通)



健感発0709第3号  
平成22年7月9日

文部科学省スポーツ・青少年局  
学校健康教育課長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長



麻しん風しんの第3期・第4期予防接種の促進について（依頼）

予防接種行政につきましては、日頃よりご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の予防接種につきましては、平成22年度の接種対象者が以下の者となることから（第3期：平成9年4月2日～平成10年4月1日に生誕した者、第4期：平成4年4月2日～平成5年4月1日に生誕した者）、あらためて、当該対象者への情報提供や接種勧奨による接種の促進が必要となっているところです。

このため、別添のとおり、各都道府県衛生主管部（局）長あてに第3期・第4期の対象者への積極的勧奨についての通知を発出したところです。

当該対象者の大部分が夏季における休業に入ることが見込まれ、授業が実施されている時期と比べ、接種を受けやすくなりますので、この機会を利用して、未だ接種を受けていない者が接種を完了できるよう、関係機関を通じて、積極的な接種勧奨をお願いいたします。

また、貴職より関係機関に対し、「学校における麻しん対策会議のガイドライン」に基づき、麻しん風しんの第3期及び第4期に当たる者のうち、未接種及び未罹患の者の状況を把握した上で、その者に対して接種の勧奨を実施するとともに、都道府県が設置する「麻しん対策の会議」へ学校ごとの接種率が情報提供されるなどの協力が推進されるよう、周知徹底方よろしくをお願いいたします。

なお、関係機関における取り組みに資するよう、自治体における接種勧奨の取組事例等について、国立感染症研究所感染症情報センターの下記ホームページに掲載しておりますので、併せて周知いただきますようお願いいたします。

記

厚生労働省ホームページ

都道府県における麻しん対策会議のガイドライン

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou21/dl/080328a.pdf>

学校における麻しん対策ガイドライン

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou21/dl/080410a.pdf>

国立感染症研究所感染症情報センターホームページ

自治体における接種勧奨の取組事例

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/05.html>

接種促進のための教育啓発ツール

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/02.html>





健感発0709第2号  
平22年7月9日

各都道府県衛生主管部(局)長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長



### 麻疹風しんの第3期・第4期予防接種の促進について

予防接種行政につきましては、日頃よりご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の予防接種につきましては、平成22年度の接種対象者が以下の者となることから(第3期:平成9年4月2日~平成10年4月1日に生まれた者、第4期:平成4年4月2日~平成5年4月1日に生まれた者)、あらためて、当該対象者への情報提供や接種勧奨による接種の促進が必要となっているところです。

当該対象者の大部分が学生・生徒であり、今後、夏季における休業に入ることが見込まれ、授業が実施されている時期と比べ、接種を受けやすくなりますので、この機会を利用して、未だ接種を受けていない者が接種を完了できるよう、市区町村に対して、積極的な接種勧奨を関係機関と協力の上、実施するよう指導方よろしくお願いいたします。

また、市区町村に対し、「都道府県における麻疹対策会議のガイドライン」に基づき、麻疹風しんの第3期及び第4期に当たる者のうち、未接種及び未罹患の者の状況を把握したうえで、その者に対する接種の勧奨を実施するとともに、「麻疹対策の会議」への協力が推進されるよう、周知徹底方よろしくお願いいたします。

なお、関係機関における取り組みに資するよう、自治体における接種勧奨の取組事例等について、国立感染症研究所感染症情報センターの下記ホームページに掲載しておりますので、併せて周知いただきますようお願いいたします。

#### 記

厚生労働省ホームページ

都道府県における麻疹対策会議のガイドライン

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou21/dl/080328a.pdf>

学校における麻疹対策ガイドライン

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou21/dl/080410a.pdf>

国立感染症研究所感染症情報センターホームページ

自治体における接種勧奨の取組事例

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/05.html>

接種促進のための教育啓発ツール

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/02.html>

事務連絡  
平成22年3月17日

各 { 都道府県 }  
          { 指定都市 } 衛生主管部（局）  
                          感染症対策担当課 御中

厚生労働省健康局結核感染症課

麻しん施設別発生状況に係る調査について

日頃より、感染症対策に御尽力いただき厚く御礼申し上げます。

さて、標記調査につきましては、平成21年8月31日付事務連絡「麻しん施設別発生状況に係る調査の再開について」により、インフルエンザ施設別発生状況調査と同様通年で実施することとさせていただいたところですが、平成22年3月28日～4月3日にかかる報告分をもって今シーズンの区切りとし、翌週分より新シーズンとして実施することといたしました。

つきましては、別紙実施要領及び別記様式「麻しん施設別発生状況」をご確認の上、引き続きシステムによる報告をお願いいたします。

なお、当課で取りまとめた情報は、感染症法第16条に基づき公表する予定ですので、ご了解願います。

また、本件につきましては、文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課を通じ、各学校所管部局あて周知を依頼しておりますことを申し添えます。

【担当】

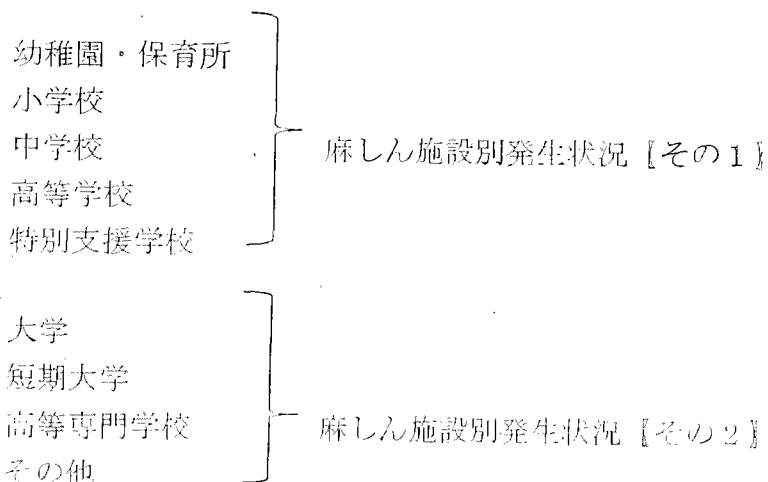
厚生労働省健康局結核感染症課  
感染症情報管理室情報管理係  
電話：03-5253-1111（内線 2380）  
E-mail：SARSOPC@mhlw.go.jp

(別紙)

## 麻しん施設別発生状況に係る調査実施要領

- 調査は別記様式に記載の項目について行うこととします。
  
- 各学校より最寄りの保健所に対して連絡（学校保健安全法第18条）のあった麻しんによる休校等の情報を、各都道府県・政令指定都市の衛生主管部局感染症対策担当課において別記様式により取りまとめの上、感染症発生動向調査システム「厚生労働省指定疾病報告機能」により報告することとします。
  
- システム操作の詳細につきましては、感染症サーベイランスシステム 業務システム編 感染症発生動向調査システム 県・市向け操作マニュアル 60ページをご覧ください。
  
- 第1回目の報告対象期間は4月4日（日）から4月10日（土）までとし、当該期間に係る休校数等について、4月14日（水）正午までに報告処理を行ってください。  
なお、休校等の報告がない場合であっても必ず「0」入力をしてください。
  
- 第2回目の報告対象期間は4月11日（日）から4月17日（土）、当該報告処理を4月21日（水）までに行うこととし、以後、1週間（日曜日から土曜日まで）分の休校数等を翌週の水曜日までに報告願います。休校等の報告がない場合であっても、毎週必ず「0」入力をしてください。

- 別記様式には、「幼稚園・保育所」から「その他」まで合計9種の学校種別が設けられていますが、感染症発生動向調査システム「厚生労働省指定疾病報告機能」の報告画面には、5種までの学校種別しか設定できない仕様となっておりますので、以下の区分により入力を行っていただくようお願いします。



- 本調査のシーズン更新につきましては、別途事務連絡によりお知らせします。
- 大学のキャンパス単位での休講等については、「休校」に分類してください。その他、計上方法について不明な点は、結核感染症課情報管理係までご照会ください。
- システムに関するご質問はNESIDヘルプデスクへお願いいたします。

**【NESIDヘルプデスク】**

電話番号 : 03-5740-8161

アドレス : nesid-helpdesk@toshiba-sol.co.jp

※ 各学校におかれては、特段の作業はありません。

麻しん施設別発生状況

第 報

月 日 ~ 月 日

	休校数		学年閉鎖校数		学級閉鎖校数		計		在籍者数		患者数		欠席者数		備考
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
幼稚園・保育所															
小学校															
中学校															
高等学校															
特別支援学校															
大学															
短期大学															
高等専門学校															
その他															
計															

記入上の注意

- この表は、日曜日から始まり土曜日に終了する一週間毎に記入すること。
- 「今週」欄は、当該週に発生したのものについて記入すること。  
 [ 従って、前週から今週に継続したものは計上せず、前週の週内に終息しかつ今週再発生したもの及び週を隔てて今週に再発生したものについては計上する。 ]
- 同一施設で同一週に休校、学年閉鎖、学級閉鎖が重複した場合は、休校、学年閉鎖、学級閉鎖の優先順位によりいずれかの該当する欄に記入すること。
- 在籍者数、患者数及び欠席者数（以下「患者数等」という。）は、次により計上すること。
  - 学級閉鎖を行った場合の患者数等は、当該閉鎖される直前の学級の患者数等であること。
  - 学年閉鎖を行った場合の患者数等は、当該閉鎖される直前の学年の患者数等であること。
  - 休校の措置がとられた場合の患者数等は、当該休校となる直前の学校の患者数等であること。
- 患者数は、欠席者及びり患登校者を含めて計上すること。（従って、欠席者数は患者数の再掲となる。）
- 本通報の対象は麻しんであり、通報前に他疾病と判明した場合は含まないものとする。